

第6期 新冠町社会福祉協議会
地域福祉実践計画書
「計画年度 令和6年度～10年度」

～ 誰もがつながり、共に支え合い、
安心して暮らせる福祉のまち にいっしょに ～



令和6年3月

社会福祉法人 新冠町社会福祉協議会

《 目 次 》

はじめに	1
第一章 計画策定にあたって	2
1. 地域福祉実践計画とは	
2. 計画の策定体制	
第二章 計画の基本的な考え方	3
1. 計画の位置付け	
2. 計画の構成	
基本目標1 みんなで参加する地域づくり	
基本目標2 みんなで支え合う地域づくり	
基本目標3 みんなと育てる地域の担い手	
基本目標4 地域に信頼される社協運営のための組織づくり	
第三章 具体的な取り組み（推進事業）	5
1. 地域福祉事業活動	
2. 在宅福祉活動	
3. 地域支援事業	
4. ボランティアセンター活動	
5. 生活福祉援助活動	
6. 介護保険事業	
7. 障害福祉サービス事業	
8. 社協活動	
9. 年次計画	
第四章 計画事業実施結果の評価	12
むすびに	13
【 資料編 】	
1. 計画策定スケジュール	16
2. 住民アンケート調査集計結果（パブリックコメント含む）	17
3. 第6期新冠町社会福祉協議会地域福祉実践計画策定委員会設置要綱	36
4. 地域福祉実践計画策定委員名簿	38

☆ は じ め に ☆

最初に、令和6年1月1日に発生した能登半島地震災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災者の皆さまに対し心からお見舞い申し上げます。

地域社会を取り巻く環境は、少子高齢化による人口減少により孤立や困窮など複雑化した様々な問題が生まれ不安を抱える人が増えています。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による長期的な自粛生活が重なり、地域の産業、経済、医療、介護、福祉など私たちの日常生活に大きな影響を及ぼしています。

これらの様々な影響によって地域活動の維持や継続が難しい状況に直面しておりますが、私たち社会福祉協議会の使命であります「誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができる」地域福祉社会の実現に向け、行政はもとより、ボランティアや福祉関係者などの福祉に理解を持たれる多くの団体、そして住民の皆さんと一緒に考え、我が町の地域福祉を推進する中核的な立場として福祉事業を推進していきます。

今後は移り変わる社会情勢への対応がより求められることから、当協議会ではコロナ禍の経験や第5期計画の検証と評価結果に基づき、社会福祉法を始めとする関係諸制度や施策など国の動向も踏まえ、新冠町地域福祉計画と連携、相互補完した第6期地域福祉実践計画を策定いたしました。

本計画の策定に際し、地域や福祉のニーズ把握のために行いましたアンケート調査では、多くの皆さまからご回答とご意見をいただき、計画策定の重要な資料とさせていただきました。本計画は新冠町と新冠町社会福祉協議会が連携し、長期的に同じ視点で地域福祉を推進することを目的に策定しておりますので、地域課題を共有しながら施策の展開に全力で取り組みますので、今後ともより一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に『誰もがつながり、共に支え合い、安心して暮らせる福祉のまち にいかっぷ』を基本理念とする本計画の策定にあたり、熱心にご審議を賜りました策定委員の皆様、ご指導を賜りました関係機関の皆様、ご意見をお寄せいただいた町民の皆様に心から厚く感謝とお礼を申し上げます。

令和6年3月

社会福祉法人 新冠町社会福祉協議会
会長 鎌田 盛行

第一章 計画策定にあたって

1. 地域福祉実践計画とは

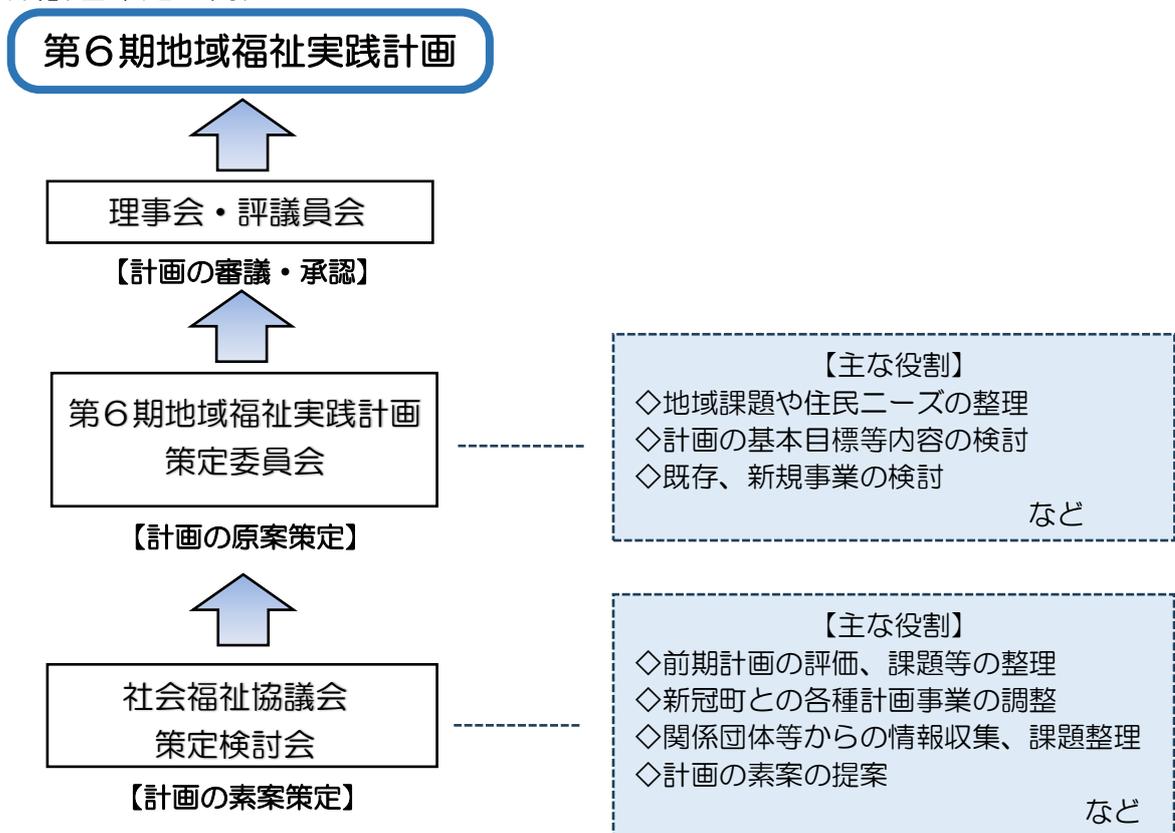
新冠町社会福祉協議会（以下「社協」という。）は、「地域福祉の推進を図ることを目的」に発足した団体であり、時代背景により変化する「地域課題」に合わせた事業を展開してきました。高齢者や障がいのある方、子どもも含めた全ての町民が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるよう計画的に事業を実施し、その成果や問題などを進行管理・評価委員会にて評価を受けています。

第6期地域福祉実践計画も、これまでの地域福祉実践計画を継続し、実践した評価結果を受け止め、この先の社協活動が様々な地域課題に対応していくため、地域福祉を担う町民・ボランティア・福祉団体などと連携・協働して具体的に実践し、前計画より行政が策定している福祉計画との連携も含め地域福祉を進めるべく事業・運営方針を定める計画です。

2. 計画の策定体制

住民への調査や現状の分析等を踏まえ、関係各方面の方々の意見や意向を反映できるよう、新冠町との合同による計画策定委員会を設置し、さらに策定委員会における円滑な協議を行うため、社協職員による策定検討会を設置し、計画策定に向けて資料収集や意見調整を図ることとしています。

実践計画策定の流れ



第二章 計画の基本的な考え方

地域福祉実践計画は、社協が地域住民や各関係機関、団体等と連携・協働して具体的に実践していくための行動計画と、社協の運営と経営の強化に取り組む発展強化計画の二つの要素から構成されています。

1. 計画の位置付け

1. 計画の名称

第6期新冠町社会福祉協議会地域福祉実践計画

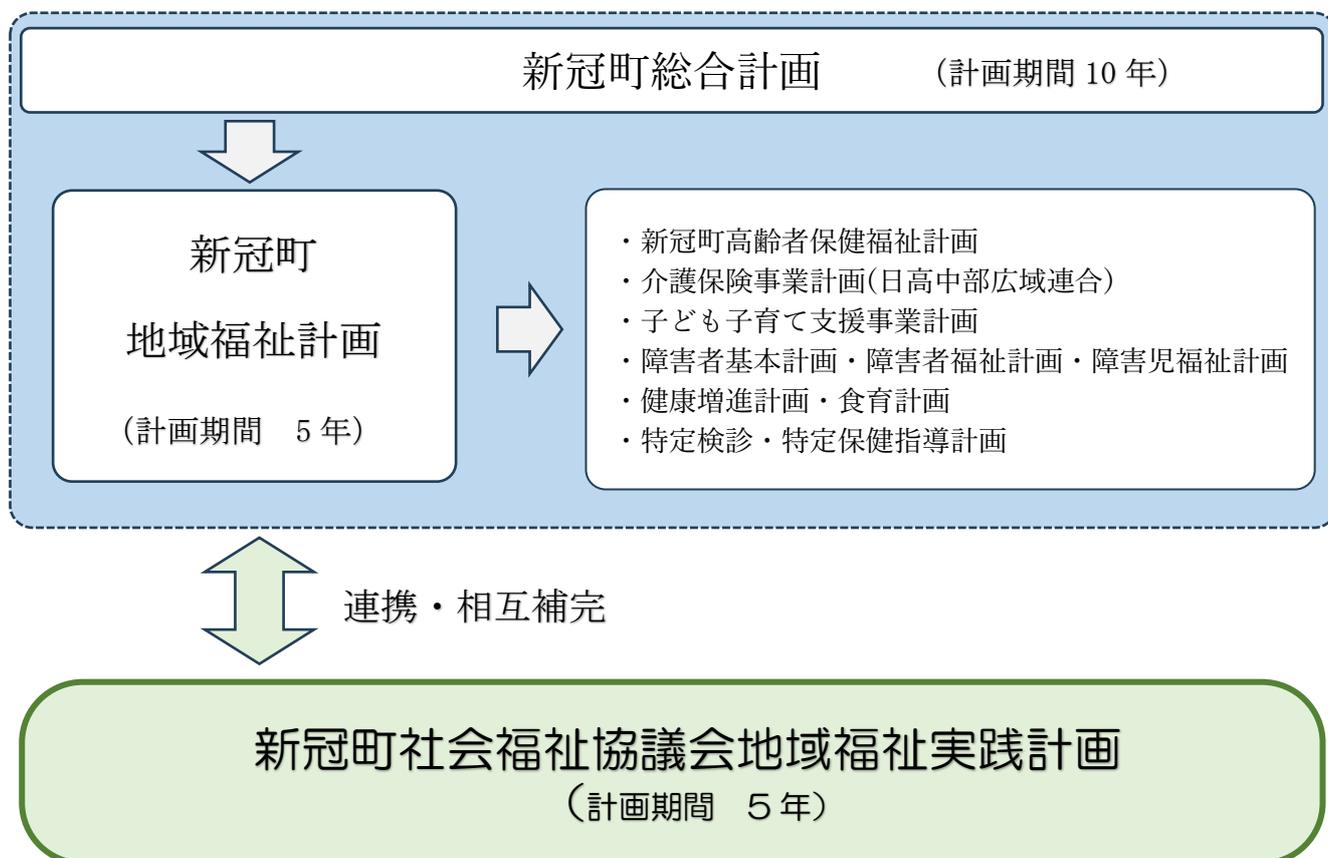
2. 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5年間に行う計画として定めます。

ただし、計画期間の途中であっても、今後の社会情勢の変化や社会福祉の動向などに応じて、必要な見直しを図ります。

3. 地域福祉計画との連携

本計画は、新冠町が策定した「新冠町地域福祉計画」と整合性を図り、相互補完することにより両計画を一体的に推進していきます。



2. 計画の構成

1. 基本理念

『誰もがつながり、共に支え合い、安心して暮らせる福祉のまち にいかっぴ』

本計画では、新冠町が策定する「新冠町地域福祉計画」の基本理念を共有し、思いやりと笑顔にあふれた住みよい地域づくりを目指し取り組みを進めます。

2. 基本目標

基本理念を実現するために、4つの目標を掲げ計画を推進していきます。

基本目標 1 みんなで参加する地域づくり

○誰もが気軽に参加できる地域活動・事業を支援し、みんなが集える交流の場を充実させます。

新冠町福祉計画 基本目標 1 〈ふれあい〉と〈つながり〉

基本目標 2 みんなで支え合う地域づくり

○住民同士の支え合いの関係づくりを促進し、地域力を高めるための事業や福祉サービス提供体制を充実します。

新冠町福祉計画 基本目標 2 〈支え合い〉

基本目標 3 みんなと育てる地域の担い手

○地域において安心して暮らし続ける基盤づくり、仕組みづくりに必要な地域福祉の担い手づくりを支援します。

新冠町福祉計画 基本目標 3 〈安心〉して暮らせるまち

基本目標 4 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

○町民から信頼され、地域福祉の推進役としての役割と機能を発揮できる組織づくりと安定した財源基盤の確立に取り組みます。



第三章 具体的な取り組み

4つの基本目標の達成に向け、次の8項目を具体的な取り組みとして推進して行きます。

これまでの事業経験や計画評価委員会の結果等を活かし、継続するべきもの、終了・統合するもの、新たに実施するものなど、情勢や生活状況の変化を踏まえ、各推進項目に捕らわれない柔軟で効率的な運用により基本理念の達成に向けて推進します。

本計画では社会福祉協議会が実施したコロナウイルス流行の影響により生活状況が悪化した方への生活福祉資金貸付事業においてその後の生活復帰に向けての支援事業を拡充して行きます。また、小地域ネットワークや生活支援コーディネーター事業を主軸として今後ますます厳しくなる社会的サービスの現状に対応するための住民の生活力やそれに関係する知識の向上を目指す予防的な支援事業を強化していきます。

1. 地域福祉事業活動の推進

だれもが住み慣れた地域で、生きがいをもち安心・安全な自立した生活を送りたいという思いを叶えるべく、公助を行う行政をはじめとした関係機関と連携しながらも、共助や互助・自助の主体である団体や地域住民との地域福祉活動を主軸に置き支援していきます。

主な関連事業

- ・小地域ネットワーク活動
- ・高齢者福祉活動（老人クラブ連合会、敬老（白寿）事業）
- ・障害者福祉活動（身体障害者福祉協会他）
- ・福祉教育（住民啓発講演会、介護等の人材育成など）
- ・赤い羽根共同募金運動と地域配分
- ・地域の社会参加福祉活動（地域や団体等が行う交流事業など）
- ・町民弔慰事業
- ・その他

2. 在宅福祉活動の推進

新冠町の在宅福祉事業の推進に協力し介護保険外の訪問介護や通院困難者の移送サービスなどに協力するとともに、制度外のサービス提供や新規検討などニーズや生活に合わせた支援を推進します。

また、在宅介護者に必要となるべく介護技術の取得や人材育成面での支援も民間事業者との連携も視野に入れ必要に応じ実施します。

主な関連事業

- ・移送サービス事業（新冠町委託事業） ※高齢者、障がい者
- ・在宅寝たきり者理容サービス
- ・福祉機器整備交付、貸出
- ・その他

3. 地域支援事業の推進

人口減少や担い手不足などはすでに地域で様々な問題が表面化してきています。地域で安心して暮らしていくためには、公助のみに頼るのではなく、地域全体で支え合う仕組みを検討、構築、実践して地域で課題を解決できる活動が求められています。

各地域に必要な支え合い、助け合いを住民自ら実現するにはどうするべきかその対策の検討や実現に向けコーディネーター、ボランティア、地域の地縁組織、民生委員等と連携し築き上げ、住民が安心して生活して行ける町づくりを目指します。

主な関連事業

- 生活支援体制整備事業（新冠町委託事業）
生活支援コーディネーター事業
- その他

4. ボランティアセンター活動の推進

ボランティアセンターを拠点として、ボランティア活動の啓発、推進を図り、ボランティア相互の連携や交流を支援します。各推進項目でも、ボランティアに対する期待は年々増してきている状況からボランティアに関する基本知識の学習機会や活動保険加入促進など活動に必要となる支援の継続や、ボランティアを必要としているニーズとボランティアのマッチング等、様々な場面でボランティアが活動できるようセンターとしての役割を継続強化していきます。ボランティア活動は共助、互助、自助など住民同士の助け合い活動と根源は同じです。小地域ネットワーク活動や生活支援体制整備とも共通する点が多いことからこれら事業とも連携しながら推進していきます。

また、日常生活時以外にも突然発生する自然災害時のボランティア活動の重要性も増してきており、災害時も意識した活動支援も検討して行きます。

主な関連事業

- 活動団体等への支援
- ボランティア活動保険
- ボランティア育成
- 活動ボランティアとの連携（町内、管内、全道等）
- 個人活動預託品の管理及び有効活用
- その他

5. 生活福祉援助活動の推進

日常生活上の困りごとに対して適切な助言や支援を行うための心配ごと相談所の開設をはじめとして、生活が困窮している世帯に対し各種貸付の提供とともに、困窮原因の解決に向け寄り添いながら世帯の自立更生を目指す必要な支援を行っていきます。

また、加齢や認知症により判断能力が不十分な方には、日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）により福祉サービス利用契約時の支援や経済的不利益を受けないための金銭管理も含

めた支援を提供して行きます。更には、認知症の進行等により判断能力が低下し施設や家族などの身寄りもなく、財産もない方には成年後見制度などの利用紹介や法人後見も視野に入れた支援を行います。

この他、貸付制度の利用に至らない方や一般の方についても、暮らして行くための工夫や知識の提供など学習を通した予防的な事業も行っています。

主な関連事業

- ・生活福祉資金（北海道社会福祉協議会委託事業）
- ・法外援護資金（独自財源）
- ・心配ごと相談（面接相談、常設相談）
- ・日常生活自立支援事業（北海道社会福祉協議会委託事業）
- ・法人後見
- ・その他

6. 介護保険事業の推進

介護保険開始当時より民間事業者の参入が望めない不採算地域の当町ですが、サービスを必要としている住民のため、介護サービス提供について様々な努力を行っている新冠町より委託との形ではありますが、訪問介護（ホームヘルプ）事業を実施し協力しています。

利用者が安心して在宅で生活できるよう地域包括支援センターを中心として各居宅介護支援事業所、介護サービス提供事業所や医療機関とも連携し、事業を継続提供していきます。

主な関連事業

- ・介護・総合支援事業に伴う訪問介護事業（新冠町委託事業）
- ・その他

7. 障害福祉サービス事業の推進

障害者総合支援法による指定居宅介護事業を訪問介護事業所にて平行実施しています。高齢者に対する介護は介護保険となりますが、同様のサービスを必要としている障がい者が年齢により介護保険に該当しない場合は障害者総合支援法に基づき利用が可能で、当会では居宅介護（身体介護・家事援助）や行動援護について提供しています。また、行政や障がい者のための相談支援事業所とも連携しながら障害福祉を推進して行きます。

主な関連事業

- ・指定居宅介護事業所（障害者訪問介護・行動援護（新冠町委託事業））
- ・その他

8. 社協活動の強化

地域福祉を推進する中核団体である社協に対する住民の理解は、事業展開や実際の活動を通じて深まることから、関係機関・団体と連携を図りながら、「地域住民から必要とされる社協づくり」を進めるとともに、行政と補完しながら社協活動の指針となる地域福祉実践計画の実現を目指し、社協組織の充実強化と信頼される社協運営に努めてまいります。

主な関連事業

- 運営活動の活性化（理事会、評議員会）
- 組織体制の強化（役職員の資質向上）
- 地域住民との信頼関係の強化維持（法令厳守等）
- 他組織との連携（北海道社協、管内社協、近隣町村社協）
- 活動財源確保（基金、会費、寄付等の活用、コスト意識の強化）
- 計画的な活動の実施（地域福祉活動実践計画、他）
- 広報活動の強化（情報の発信、理解促進）
- その他

9. 年次計画

推進項目	事業名・主な活動項目	年次計画				
		6	7	8	9	10
1	地域福祉事業活動の推進					
	1 小地域ネットワーク活動 ・援護体制の構築支援 ・援助活動の支援 ・福祉委員の設置、活動、連携の支援	○	○	○	○	○
	2 高齢者福祉活動 ・老人クラブ連合会活動の支援 ・敬老事業(白寿)の実施及び支援 ・健康維持や交流事業の推進	○	○	○	○	○
	3 障害者福祉活動 ・障害者福祉協会活動の支援 ・その他障害者活動の支援	○	○	○	○	○
	4 福祉教育活動 ・小中学校への福祉教育の支援協力 ・住民の福祉学習の実施、支援協力 ・福祉に関する人材の育成	○	○	○	○	○
	5 赤い羽根共同募金運動 ・募金活動 ・助成活動（一人暮らしふれあい会食会・年越し会・他） ・義援金受付	○	○	○	○	○
	6 地域の社会参加福祉活動 ・福祉活動推進支援事業 （ふくしな活動助成・ふれあいフェスタ） ・自治会連合会支援事業への協力 （ひとりの不幸も見逃さない運動）	○	○	○	○	○
	7 町民弔慰事業	○	○	○	○	○
	8 その他 新規事業の検討や実施	○	○	○	○	○
2	在宅福祉活動の推進					
	1 移送サービス事業（町より委託）	○	○	○	○	○
	2 在宅寝たきり者理容サービス事業	○	○	○	○	○
	3 福祉機器用品の交付、貸出事業	○	○	○	○	○
	4 その他 新規事業の検討や実施	○	○	○	○	○

推進項目	事業名・主な活動項目	年次計画				
		6	7	8	9	10
3	地域支援事業の推進					
	1 生活支援体制整備事業（町より委託） （生活支援コーディネーター事業） ・地域の状況や活動の情報収集・整理 ・自治会や地域住民との協議の場 ・地域活動の場の整備や支援 ・活動実績や課題などの意見交換、交流機会の実施 ・地域で必要な社会資源の構築 ・実績や参考事例などの提供や広報	○	○	○	○	○
	2 民生委員・児童委員との連携強化 ・地域や個別事案への連携対応 ・相談対応研修会への共同参加	○	○	○	○	○
	3 その他 新規事業の検討や実施	○	○	○	○	○
4	ボランティアセンター活動の推進					
	1 ボランティア活動団体等への支援	○	○	○	○	○
	2 ボランティア育成支援事業（研修会参加）	○	○	○	○	○
	3 ボランティア活動保険	○	○	○	○	○
	4 活動ボランティア間の交流と連携支援	○	○	○	○	○
	5 個人活動預託品の管理及び有効活用	○	○	○	○	○
	6 民間事業者の地域貢献活動への協力	○	○	○	○	○
	7 災害ボランティア活動への備え	○	○	○	○	○
	8 その他 新規事業の検討や実施	○	○	○	○	○
5	生活福祉援助活動の推進					
	1 心配ごと相談事業 ・関係相談機関との連携強化 ・民生委員・児童委員との連携	○	○	○	○	○
	2 生活福祉資金事業（道社協より委託） ・民生委員・児童委員との連携 ・生活改善への支援体制強化	○	○	○	○	○
	3 法外援護資金事業 ・生活困窮者自立支援事業所との連携	○	○	○	○	○

推進項目	事業名・主な活動項目	年次計画				
		6	7	8	9	10
	4 日常生活自立支援事業（道社協より委託）	○	○	○	○	○
	5 法人後見事業	○	○	○	○	○
	6 その他 新規事業の検討や実施	○	○	○	○	○
6	介護保険事業の推進					
	1 介護・総合支援事業に伴う訪問介護事業（町より委託）	○	○	○	○	○
	2 新冠町地域ケア会議との連携	○	○	○	○	○
	3 地域包括支援ネットワークとの連携	○	○	○	○	○
	4 その他 新規事業の検討や実施	○	○	○	○	○
7	障害福祉サービス事業の推進					
	1 障害者総合支援法に基づく居宅介護事業（町より委託） （障害者訪問介護・行動援護）	○	○	○	○	○
	2 その他 新規事業の検討や実施	○	○	○	○	○
8	社協活動の強化					
	1 運営活動の活性（理事会、評議員会）	○	○	○	○	○
	2 組織体制の強化（役職員の資質向上）	○	○	○	○	○
	3 地域住民との信頼関係の強化維持（法令厳守等）	○	○	○	○	○
	4 他組織との連携（北海道社協、管内社協、近隣町村社協）	○	○	○	○	○
	5 活動財源確保 （基金、会費、寄付等の活用、コスト意識の強化）	○	○	○	○	○
	6 計画的な活動の実施（地域福祉活動実践計画、他） ・第6期地域福祉実践計画評価委員会の開催 ・地域福祉計画や行政計画との連携 ・第7期地域福祉実践計画の作成	○	○	○	○	○
	7 広報活動の強化（情報の発信、理解促進） ・広報紙の発行、ホームページの活用	○	○	○	○	○
	8 その他 新規事業の検討や実施	○	○	○	○	○

第四章 計画事業実施結果の評価

地域福祉実践計画では計画に位置づけされた具体的事業等に対し、どのような効果があり、どれだけ地域福祉が推進できたか、計画どおりに実践されているかを進行管理し、その事業の評価を行うことを目的に委員会を設置しています。

（新冠町社会福祉協議会進行管理・評価委員会設置要綱平成27年3月制定）

5年間の計画ですが、これまでの計画と同じく事業年度終了後に毎年、実施内容の結果を事業担当者が自己評価表（下記参照）を作成しそれを基に、地域福祉実践計画評価委員会にて意見を発表し評価を受けます。

計画途中であっても、情勢の変化に伴う変更や改善、新たな取り組み等も検討し、より良い結果が得られるよう取り組んでいきます。

また、評価委員会での結果については、その後の評議員会を通じ公表します。

評価基準（要綱 第7条）

事業の評価基準は各号の3段階とする。

- (1) A：かなり評価できる（予定を上回り推進された）
- (2) B：普通に評価できる（予定どおり推進された）
- (3) C：あまり評価できない（あまり推進されなかった）

評価の時期・公表（要綱 第8条）

前年度の事業評価は、新年度当初に行い、毎年5月開催予定の理事会・評議員会で公表し、地域福祉の推進状況及び今後の課題等について理解の促進を図る

- 基本理念の4項目での評価（総評）
- 具体的推進項目による評価

☆ む す び に ☆

新たな新冠町社会福祉協議会地域福祉実践計画が策定されました。

この実践計画は、行政が策定する新冠町地域福祉計画と連携、相互補完するため合同で策定しており、これからの5年間の活動指針となるものです。

策定委員会では、住民ニーズ、地域福祉に対する理解や関心、福祉観、参加意識などを把握することで、きめ細かい実践計画が策定できると考え、世帯、職業、身体状況など、年齢は10代から70代を超える幅広い世代を対象に住民アンケートを実施し、多くの町民のご協力により寄せられた回答や意見を取りまとめ、その結果を元に課題の整理を行ったところであります。

さらに、現在実施している事業の展開を再確認しながら、新冠町の策定する地域福祉計画と実践計画との関係、連携、構成、体系図を踏まえ、基本計画をまとめています。

基本理念は新冠町の地域福祉計画と共有しており、「誰もがつながり、共に支え合い、安心して暮らせる福祉のまち にかっぷ」とし、前計画からのつながりを重視して4つの基本目標を継承するとともに、具体的に取り組むべき項目も掲げました。

地域に住まわれる皆さんの協力を得ながら共に支え合っていくことにより、安心して暮らすことができる住みよい福祉の町が作られていくものと考えます。

今後5年間の取り組みに向けて、地域住民の皆様方からの温かいご支援とご協力をお願い申しあげ、むすびの挨拶といたします。

令和6年3月

第6期新冠町社会福祉協議会地域福祉実践計画策定委員会
委員長 成田 英司

【 資 料 編 】

1. 計画策定スケジュール
2. 住民アンケート調査集計結果(パブリックコメント含む)
3. 第6期新冠町社会福祉協議会地域福祉実践計画策定委員会設置要綱
4. 地域福祉実践計画策定委員名簿

1. 計画策定スケジュール

年 月	事 項 等	内 容
令和5年 5月16日	要綱の制定	<ul style="list-style-type: none"> 第6期計画策定委員会の設置要綱制定
	計画策定検討会	<ul style="list-style-type: none"> 社協内職員による検討会立ち上げ 福祉計画との連携内容の打ち合わせ
7月26日	第1回 計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 委嘱書交付 委員長、副委員長選出 地域福祉実践計画の概要について 前期計画の評価について 住民アンケートについて
		<ul style="list-style-type: none"> 調査対象者（発送者）選考
8月28日	住民ニーズ調査実施	<ul style="list-style-type: none"> アンケート 発送 8月28日 回収 9月29日 集計分析作業
12月22日	第2回 計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 住民ニーズ調査結果の報告 地域福祉実践計画（骨子）案について
令和6年 1月30日	第3回 計画策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉実践計画（素案）の協議 地域福祉実践計画（最終案）の確認・承認
2月 1日	パグリックコメント実施	<ul style="list-style-type: none"> 新冠町ホームページにて福祉計画と計画共に福祉実践計画の町民意見の公募
3月	第6期計画答申	<ul style="list-style-type: none"> 策定委員会委員長、副委員長より
5月	公表	<ul style="list-style-type: none"> 理事会、評議員会にて説明

・新冠町地域福祉計画との連携

第2期新冠町地域福祉計画策定委員会と合同で策定作業を行い、各委員会も合同開催し策定しています。

2. 住民意識アンケート集計結果

1 調査の目的

策定にあたり、地域住民の福祉に対するニーズや理解度、関心度、福祉観等を把握することによって、現在の社会福祉活動をより一層地域に根ざし、住民参加を考慮した地域福祉実践計画づくりのための調査。

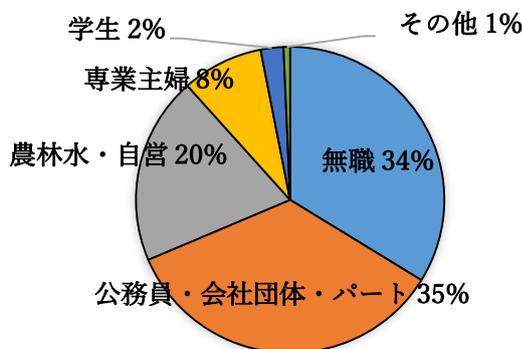
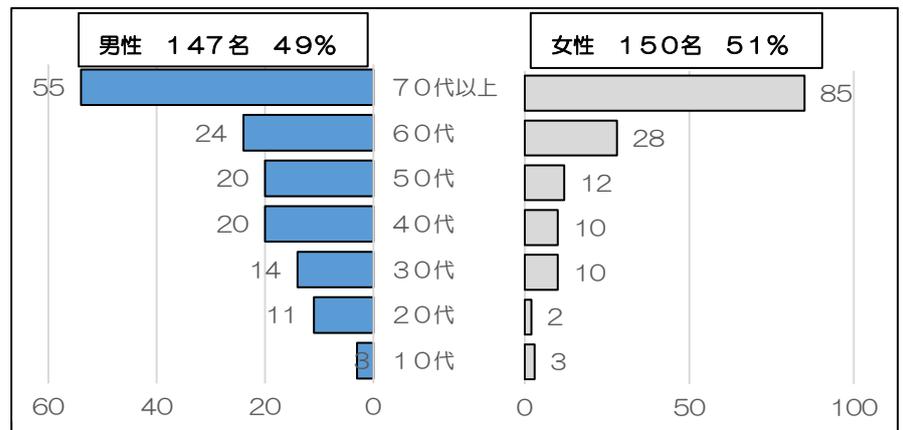
- (1) 調査名 地域福祉実践計画策定のための住民アンケート
- (2) 調査期間 令和5年8月28日(月)～9月29日(金)
- (3) 調査対象者数 満16歳以上の新冠町に居住している500名
- (4) 調査項目 28項目
- (5) 回収数・率 297名 59.4%

年齢層	発送数	回答数	回答率	年齢層	発送数	回答数	回答率
16～19	20名	6	2%	60～69	85名	52	18%
20～29	42名	13	5%	70～79	86名	139	47%
30～39	54名	24	8%	80～89	76名		
40～49	67名	30	10%	90～99	15名		
50～59	55名	32	10%	100以上	0名		

参考 年齢層別アンケート発送数、回答数、割合

2 調査結果の状況、分析、考察

- 問1 あなたの性別はどちらですか。
- 問2 あなたの年齢は何歳ですか。
- 問3 あなたのご職業は何ですか。
- 問4 あなたの住んでいる地区はどこですか。



回答者別居住地区

地域	数	男性	女性
市街地・節婦	195	90	108
新冠沢	64	38	26
西新冠沢	34	18	16
合計	293	146	147

(※ 住所未回答あり)

【 結果分析説明 】

回答者の基本情報については、前回(5年前)とほぼ同じ結果となっています。

年齢別回答数は発送数そのまま反映した結果です。

居住地別集計は、前回、西新冠沢が極端に少なかったのですが、今回は増えた結果となり、実際の居住者数比率に近い結果となっています。

問5 あなたが、現在同居されている家族構成は次のどれですか。(○は1つだけ)
 1 単身世帯(1人) 2 夫婦のみ(1世代世帯) 3 親と子(2世代世帯)
 4 祖父母と親と子(3世代世帯) 5 その他

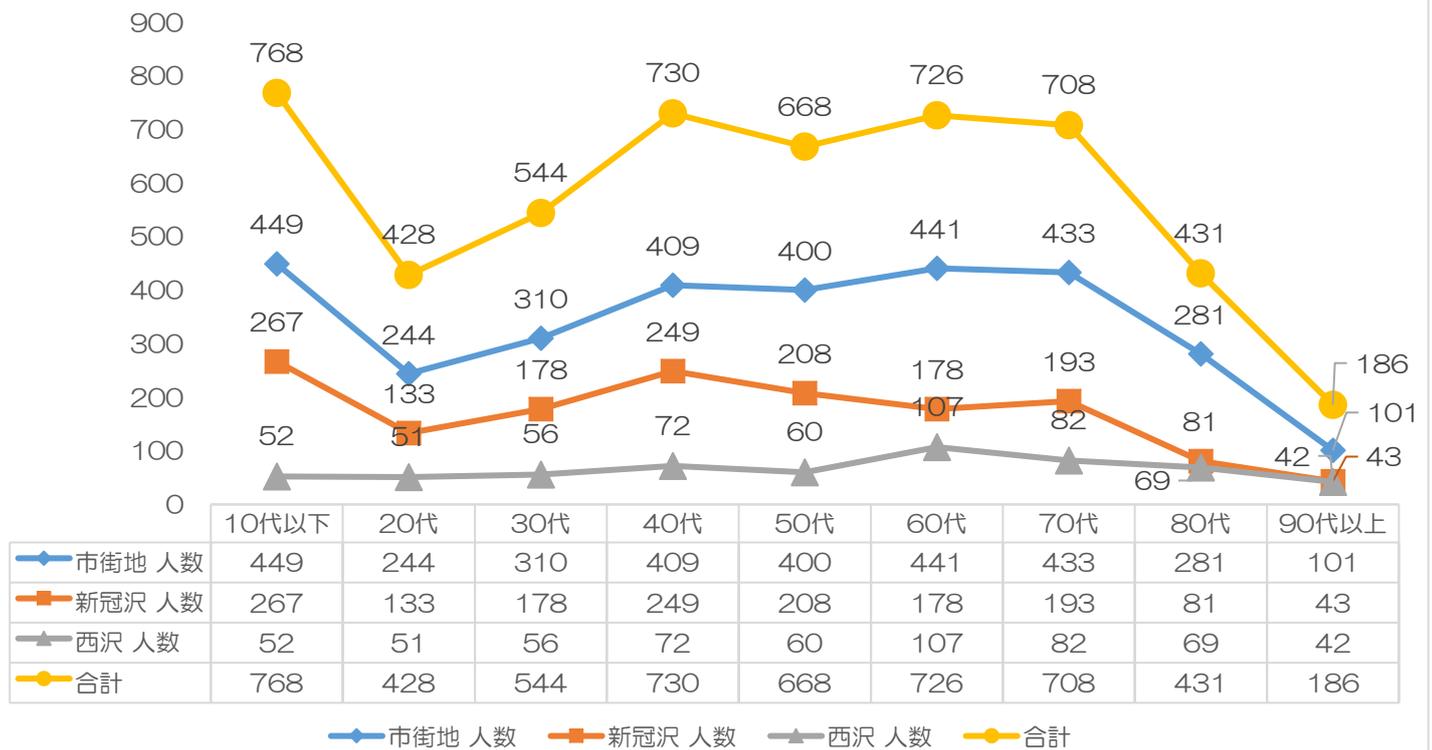
問6 あなたは、新冠町に住んで何年になりますか。(○は1つだけ)
 1 1年未満 2 1～10年未満 3 10～20年未満 4 20～30年未満
 5 30年以上

問7 あなたのお住まいは次のどれですか。(○は1つだけ)
 1 一戸建て持ち家 2 一戸建て借家 3 賃貸マンション・アパート
 4 公営住宅 5 下宿・寮 6 その他

【 結果分析説明 】

家族構成については、夫婦世帯 34%、親子 34%、単身 24%、3 世代 5%、他 3%
 (前回 37%、 33% 21% 5% 4%)
 居住年数は前回と同じく 30 年以上が 62%となっています。
 住まいについても持ち家率が高い状況です。持ち家 72% 前回 75%

新冠町居住地・年齢別人口 令和5年3月31日現在

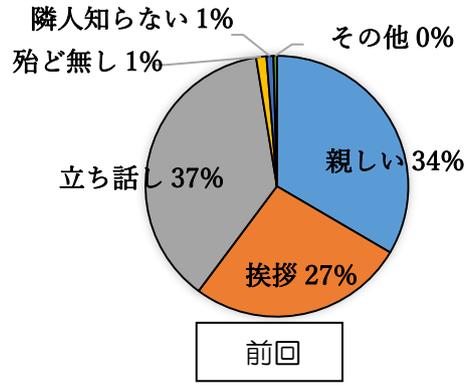
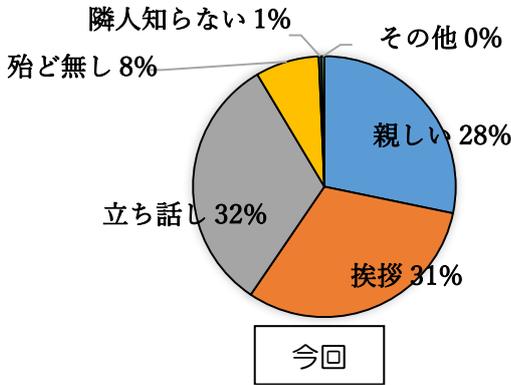


【 補足 】

市街地 …… 本 町 ～ 東 町 + 節婦町
 新冠沢 …… 泊 津 ～ 岩清水
 西新冠沢 …… 大狩部 ～ 里 平
 総人口合計 …… 5,189 名 (男性 2,588 名 女性 2,601 名)
 ※ 新冠町行政区別・年齢別人口調べより

問8 あなたは、ふだん近所の方との程度のおつきあいをしていますか。（○は1つだけ）

- 1 家を行き来するなど親しくつきあっている
- 2 あいさつをする程度
- 3 顔が会えば立ち話をする程度
- 4 ほとんどつきあいはない
- 5 隣近所にどんな人が住んでいるかわからない
- 6 その他



【 結果分析説明 】

近所づきあいは、都会と違い「親しくつきあっている」、「あいさつ」、「立ち話」という方が圧倒的に多いが、前回と比較し「殆ど無し」部分について回答年齢を比較した場合、前回は30～50代は3名だったが、今回は全世代で1～5名の計23名が回答しています。性別では男性が女性の2倍となっています。

問9 あなたのお住いの地域で、“気になること（不安や不満）”はありますか。（○は1つだけ）

- 1 ない
- 2 ある（⇒問10にお進みください）

（問9で「2 ある」と答えた方におたずねします。）

問10 気になること（不安や不満）は、だれに相談しますか。（○は該当する番号すべて）

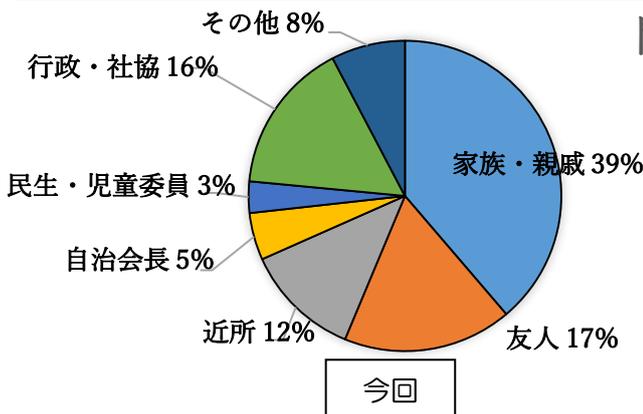
- 1 家族・親戚
- 2 友人
- 3 隣近所の人
- 4 自治会長
- 5 民生委員児童委員
- 6 行政・社協職員
- 7 その他

人数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代~
家族・親戚		2	7	5	9	12	36
友人		1	5	3	2	5	16
隣近所			2	2	3	6	10
自治会長					1	4	4
民生・児童委員						1	5
行政・社協			3	3	4	5	14
その他			3	1	2	1	7

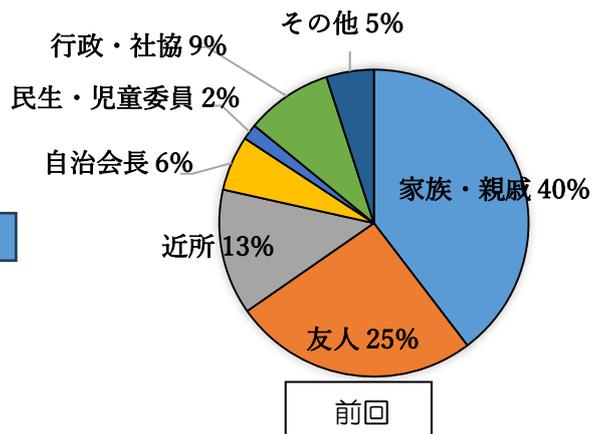
【 結果分析説明 】

地域で「気になること」や「その相談先」については、気になることが「ある」と答えた方が約33%で、前回29%より微増となっています。

相談先については、友人が減少し行政・社協が増加しておりコロナ自粛が関係していると思われます。



問10



◆ 災害時の対応についておたずねします。

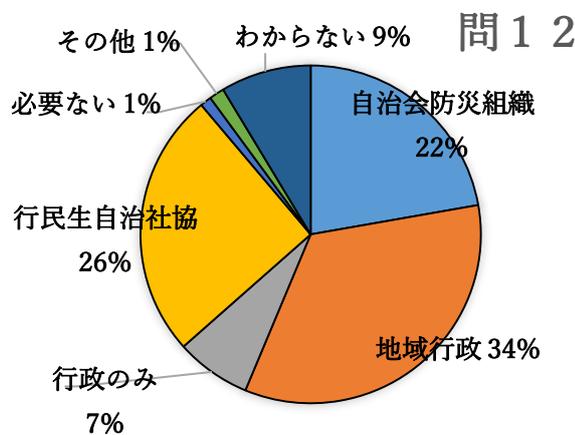
問11 大雨、地震など災害が発生した時、あなたはどのように避難しますか。（○は1つだけ）
 1 自分1人で避難できる 2 同居家族や近所の人などの介助があれば避難できる
 3 避難できない（⇒その理由をお書きください： ）

問12 災害が発生した時、自力で避難できない方など手助けが必要な方に対する支援の取組みについて、あなたはどのように思いますか。（○は1つだけ）
 1 自治会は自主防災組織など地域で取組んでいくことが望ましい
 2 地域と行政が協力して取組んでいくことが望ましい
 3 プライバシーの問題があるので、行政が中心となって取組んでいくことが望ましい
 4 行政、民生委員児童委員、自治会、社会福祉協議会が連携を深め、支援していくことが望ましい
 5 そうした取組は必要ない 6 その他 7 わからない

問11 今回	%	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代~
ひとりで避難	74	217	5	11	21	28	27	43	82
介助が必要	22	66	1	2	3	1	5	4	50
出来ない	4	10				1		2	7



問11 前回	%	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代~
ひとりで避難	77	183	2	8	23	25	18	46	61
介助が必要	18	43			4	3	4	2	30
出来ない	5	11		1				2	8



【 結果分析説明 】

回答記入数が増加しており、この項目に対する関心の高さが伺えます。避難時の結果としては、一人で避難可能が74%と前回と同水準ですが、「介助が必要・避難できない」が増加しています。避難が難しいと回答した方の居住地別では、市街地が73%となっています。支援の取組みに関し、ほとんどの方が、住民や行政を中心とした関係機関の連携が必要との考えを持っている結果で、これまでと同様の意識を持っています。

自由記載は少数ではあるが、理由や支援方法、その他として下記の意見もありました。

- ・ 近隣の方の助けが必要。
- ・ 保有車両の関係で、家族の避難時の足がない。
- ・ 車いす利用中や歩行困難などがあげられた。
- ・ その時になった場合、自身の事しかできない。
- ・ 理想と現実を直視し自身で備える必要がある。
- ・ 余裕があれば手助けは可能だが、災害時は無理と思います。
- ・ 現在は免許を所持しているが、返納後は避難できない。
- ・ 避難所での要介護者、障がい者の過ごし方に不安。
- ・ 稼業の牛や馬の避難についての不安。

◆ あなたの地域活動、地域福祉活動への参加についておたずねします。

※地域福祉：地域社会における福祉の問題に対し、その地域の住民や福祉関係者などが、協力して取り組んでいくこと。

問13 あなたは、地域の行事や活動にどの程度参加していますか。（○は1つだけ）

- 1 積極的に参加している
- 2 ときどき参加している
- 3 あまり参加していない
- 4 参加していない（⇒問15にお進みください）

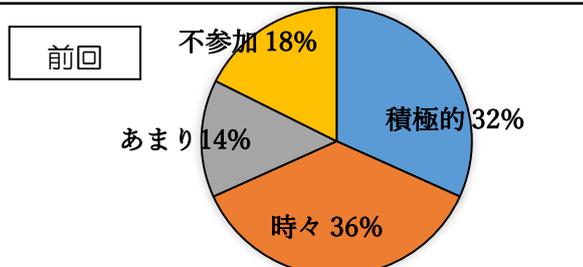
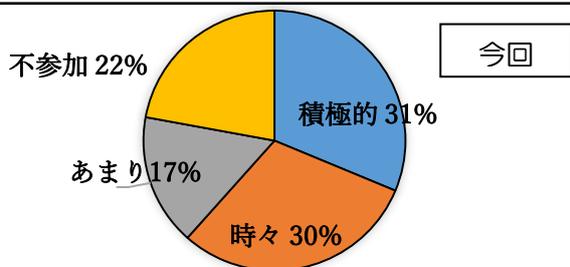
問14 あなたは、ふだん地域のどのような活動に参加していますか。（○は該当する番号すべて）

- 1 自治会、老人会、婦人会活動
- 2 子ども会、PTAなどの活動
- 3 文化サークル活動、青年活動
- 4 福祉ボランティア活動
- 5 盆踊り、祭り、伝統行事、レクリエーション
- 6 その他

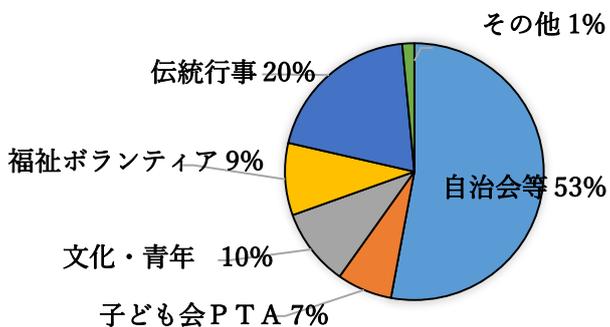
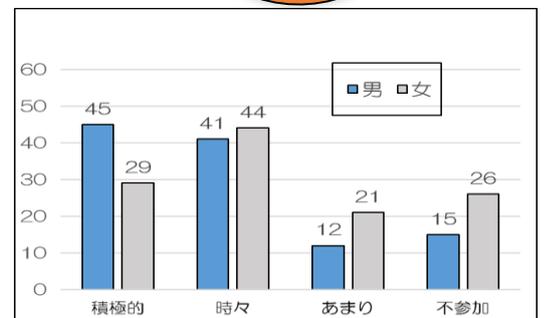
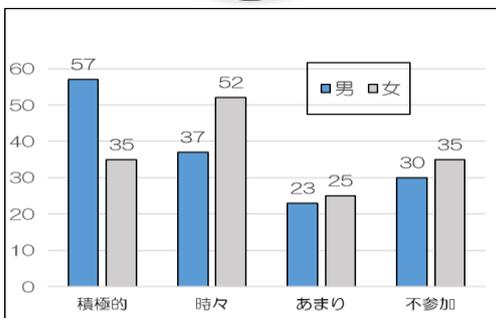
（問13で「4 参加していない」と答えた方におたずねします。）

問15 参加していない理由は何ですか。（○は該当する番号すべて）

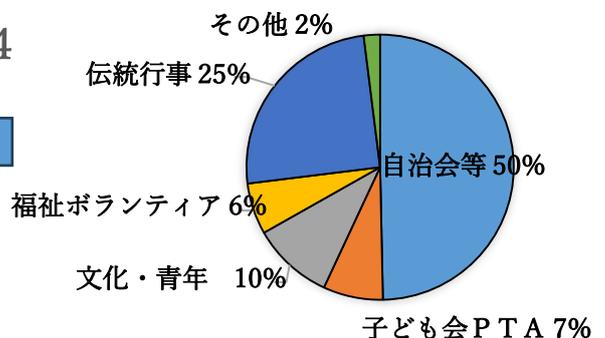
- 1 興味のある活動や行事がないから
- 2 人との関係を持ちたくないから
- 3 情報が入らない（入りにくい）
- 4 時間的余裕がないから
- 5 健康に自信がないから
- 6 知らない人ばかりで参加しにくい
- 7 その他



問13



問14



【 結果分析説明 】

地域の行事や活動への参加状況は、「参加している」（積極的・時々・あまり）78%と前回 82%から減少しました。一方「参加していない」は22%と前回 18%より増加。コロナによるお祭り等中止の影響が伝統行事への参加の減少に繋がったと思われます。意外だったのは、事業の中止や自粛があったが、自治会や他の参加への影響が少なく、ボランティア等への参加が微増しています。

参加していない理由として、「健康に自信がない」が35%（前29%）、「時間がない」が27%（前同数）と多く、次いで「興味ある活動がない」11%（12%）となっており、他の項目は数%台と前回と同じ結果となっています。

問16 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。(〇は1つだけ)
 1 参加している 2 以前に参加したことがある 3 参加したことがない

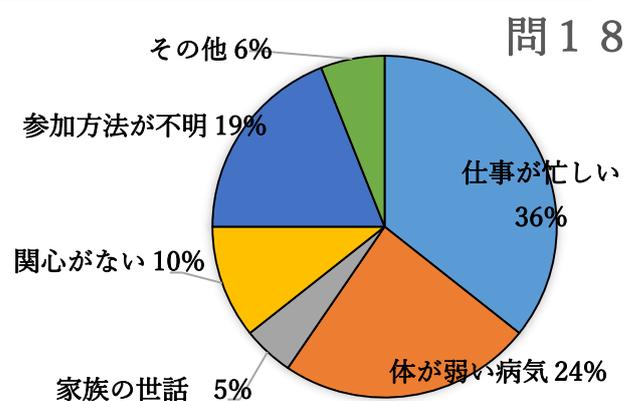
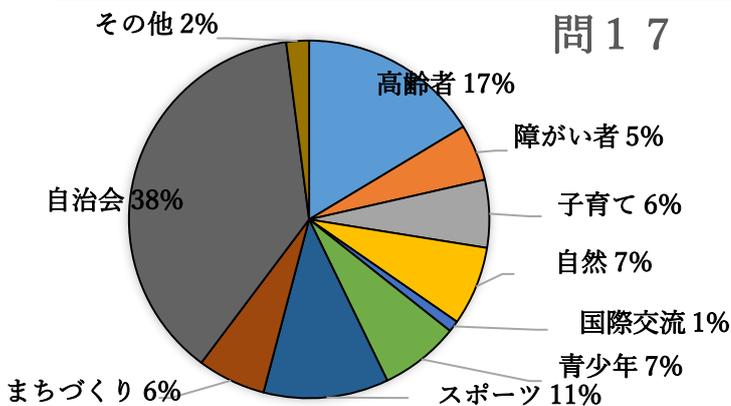
(問16で「1 参加している」「2 以前に参加したことがある」と答えた方におたずねします。)

問17 あなたは、どのようなボランティア活動をしていますか。(〇は該当する番号すべて)
 1 高齢者の援助 2 障がい者(児)の援助
 3 子育ての支援や子どもの世話 4 自然や環境保護に関する活動
 5 国際交流に関する活動 6 青少年の健全育成に関する活動
 7 スポーツ・文化に関する活動 8 まちづくりに関する活動
 9 自治会活動 10 その他()

(問16で「3 参加していない」と答えた方におたずねします。)

問18 ボランティア活動に参加したことがない理由は何ですか。(〇は該当する番号すべて)
 1 仕事や家事で忙しいから 2 体は弱い、病気がちであるから
 3 高齢者や病気の家族の世話をしているから 4 興味や関心がないから
 5 活動の内容や参加の方法がわからないから 6 その他()

問19 あなたがボランティア活動に参加するうえで必要なことは何ですか。(〇は3つまで)
 1 活動に関する広報・情報提供 2 活動に関する窓口相談
 3 ボランティア講習会や研修 4 表彰など社会的評価
 5 友人や家族と参加できる活動 6 時間的に負担の少ない活動
 7 体力的に負担の少ない活動 8 人間関係上の負担の少ない活動
 9 少額でも報酬が支払われる活動 10 活動に応じたポイント制などの導入
 11 活動資金や物品の補助 12 事故があったときの補償体制
 13 活動場所の確保 14 特にない 15 その他()



【 結果分析説明 】

ボランティア活動の参加状況は、「参加している」31%（前回25%）、「以前に参加したことがある」23%（前回22%）を合わせて約54%（前回47%）がボランティア活動に参加しているとの結果となっています。活動の内容は、「自治会活動」が38%（前回35%）で多く、次いで「高齢者の援助」17%（12%）、「スポーツ・文化活動」11%（前回10%）の順となっています。

活動の不参加理由として、傾向は以前とあまり変化はなく「仕事や家事が忙しい」が最も多く、高齢者になると健康を理由とする回答が多くなっています。ボランティア活動に対する気持ちはあるが、生活状況や身体的（高齢による健康悪化）により参加できない状況となっています。

活動の参加に必要なことは、「時間の負担が少ない活動」が19%とトップで次いで前回トップの「活動に関する情報・広報等」で15%（前回22%）となっており「体力の負担の少ないもの」、「友人家族と参加できるもの」と続いています。「報酬」、「ポイント」等の要望は殆どなく、「講習会」や「事故の補償」等の必要性が多くなっています。

◆ 新冠町の福祉について、あなたのお考えをおたずねします。

問20 あなたは、新冠町の福祉サービスや福祉施設などについて、どの程度知っていますか。

- 1 十分な情報と知識があると思う 2 ある程度の情報と知識があると思う
3 ほとんど知らない 4 その他（ ）

※ 福祉サービス：人々が等しく受けることのできる公的支援のこと。高齢者福祉、障がい者（児）福祉、児童福祉 等

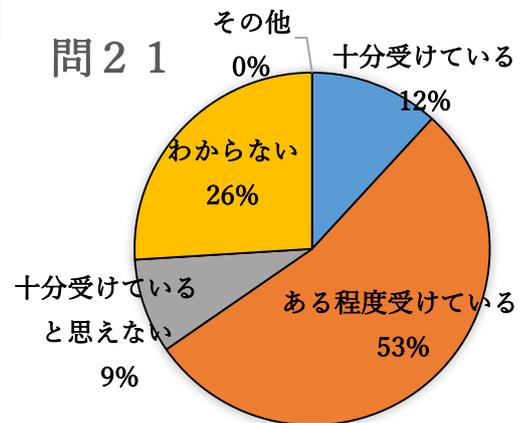
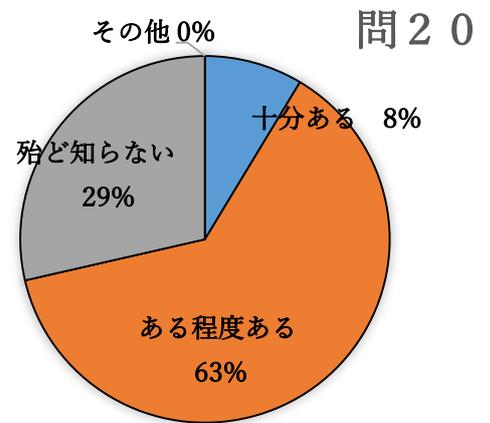
問21 あなたは、現在なんらかの日常生活における支援を必要としている町民が、十分な福祉サービスを受けているとお考えですか。（〇は1つだけ）

- 1 十分な福祉サービスを受けている 2 ある程度満足できる福祉サービスを受けている
3 十分な福祉サービスを受けているとは思えない 4 わからない 5 その他（ ）

問20 今回	%	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代~
十分ある	8.6	25		1	2	2	3	5	12
ある程度ある	62.8	182	1	4	11	15	16	32	103
殆ど知らない	28.6	83	5	7	11	13	13	13	21
その他	0.0	0							



問20 前回	%	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代~
十分ある	9.4	22			1			6	15
ある程度ある	62.8	147	1	4	13	13	10	34	72
殆ど知らない	27.5	64	1	4	13	15	11	8	12
その他	0.3	1						1	



【 結果分析説明 】

新冠町の福祉サービスや福祉施設の認知度は、「十分」「ある程度」を合わせると約72%、「ほとんど知らない」は約29%で前回とほぼ同数となっています。傾向として若年層に向かうほど低下傾向であったが、全体的に各層での数字は増えています。

サービスを受けているかは、「十分受けている」12%、「ある程度満足できるサービスを受けている」53%と合わせると過半数を超えています。一方で「十分ではない」、「わからない」の合計が35%で前回とほぼ同数となっています。

問22 あなたが、何らかの福祉サービスを利用できる対象となった場合、使えるなら使ってみたいと思いますか。(〇は1つだけ)

- 1 既に使っている 2 使ってみたい 3 使わない 4 わからない

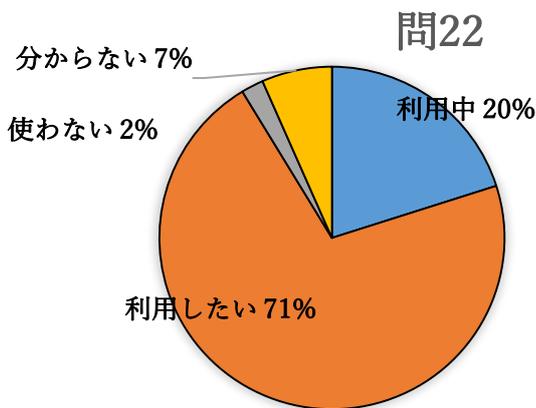
(問22で「1 既に使っている」と答えた方におたずねします。)

問23 使っているサービスで足りない部分がありますか。

- 1 ない 2 ある()

(問22で「3 使わない」「4 わからない」と答えた方におたずねします。)

問24 なぜ「使わない」と思いましたか。また、「わからない」理由は何ですか。自由にお書きください。



【 結果分析説明 】

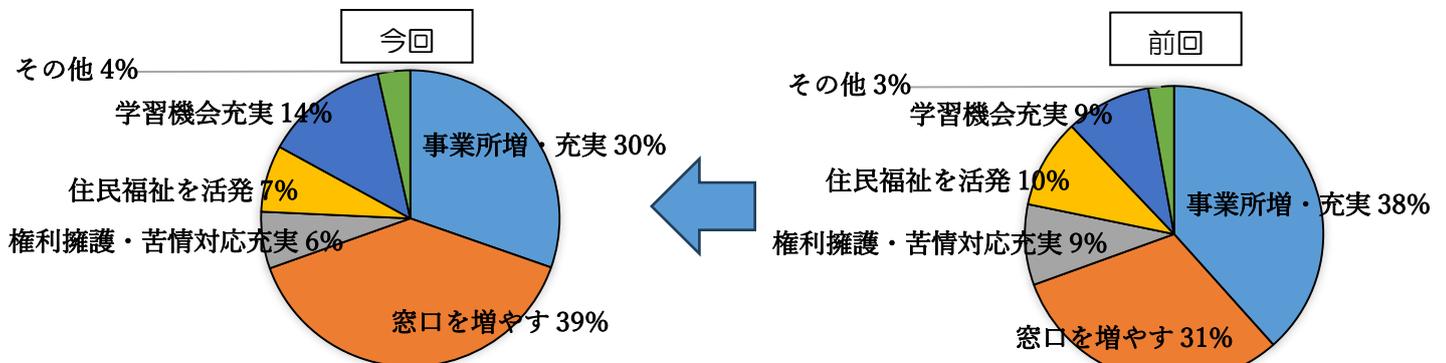
福祉サービスを利用できる対象となった場合使ってみたいと思う方は、「使っている・使ってみたい」と答えた人と合わせて91%前回と同数となり。「分からない」が7%(前回8%、前々回13%)で減少傾向ではありますが、年齢や生活状況が利用対象外の方の関心の低さによる情報不足は依然あると思われます。

利用中の方で不足部分があると答えたのは55名中11名となっています。問23の自由記載では次のような意見もありました。・認知症の方の即入所入院対応。・買い物、祝日の移動等。(いずれも70才以上からの意見。)

問24については別記添付。

問25 あなたは、福祉サービスを充実させるために、最も必要と思うものは次のどれですか。(〇は1つだけ)

- 1 サービスを提供する事業所を増やしたり、設備を充実させる
- 2 サービスに関する情報提供窓口を増やす
- 3 サービス利用者を保護する権利擁護や苦情対応などの取組みを充実させる
- 4 住民による福祉活動(ボランティア活動など)を活発にさせる
- 5 情報や知識を身に付けるための地域での学習機会を充実させる
- 6 その他(具体的に)



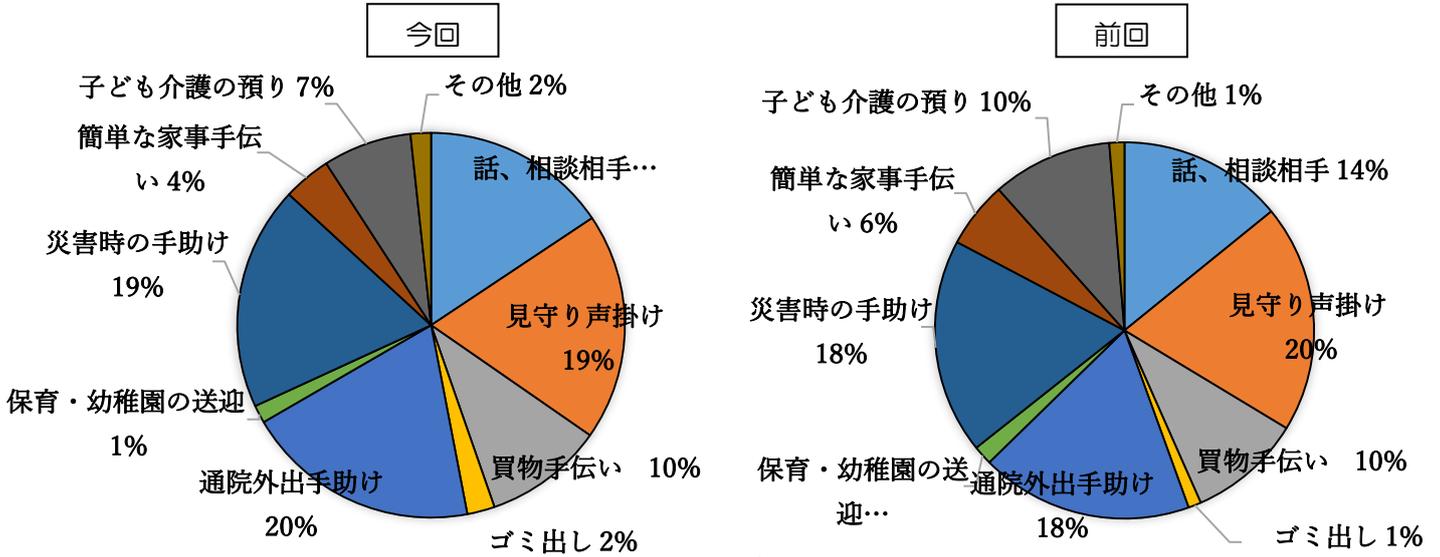
【 結果分析説明 】

福祉サービスを充実させるために何が必要かについては、依然として「事業所・設備・相談窓口の増」が全体の約7割となりましたが、「学習機会の充実」が増加しており、情報や知識習得への関心が高まってきていると思われます。

自由記載では「マンパワー、人の確保」、「買い物へ行けるサービス」との意見がありました。

問26 あなたは、地域の活動でどのような手助けがあったら良いと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 話し相手や困ったときの相談相手 | 2 見守りや安否確認の声掛け |
| 3 買い物の手伝い | 4 ゴミ出し |
| 5 通院の送迎や外出の手助け | 6 保育所・幼稚園の送迎 |
| 7 災害時の手助け | 8 簡単な家事(食事作りや掃除、洗濯等)の手伝い |
| 9 子どもや介護を必要とする人の短時間の預かり | 10 その他() |



【今回】

通院や外出の手助け	(20%)
見守りなどの声掛け	(19%)
災害時の手助け	(19%)
話し・相談相手	(16%)
買い物の手伝い	(10%)
子・介護の短時間預り	(7%)
簡単な家事手伝い	(4%)
ゴミ出し	(2%)
保育所・幼稚園の送迎	(1%)
その他	(2%)

【前回】

見守りなどの声掛け	(20%)
災害時の手助け	(18%)
通院や外出の手助け	(18%)
話し・相談相手	(14%)
子・介護の短時間預り	(10%)
買い物の手伝い	(10%)
簡単な家事手伝い	(6%)
保育所・幼稚園の送迎	(2%)
ゴミ出し	(1%)
その他	(1%)

【結果分析説明】

必要とされる地域活動について、順位の移動はありますが上位4項目は依然と多い結果で全体の約7割を占めています。

その他としては、「必要な方に直接聞く」など、ニーズの発掘に対するアドバイスや「子どもや公園を増やしてほしい」、「冬季の除雪」、「災害時の備え」などの意見もありました。

問27 みんなが助け合いながら安心して暮らすためには、今後どのようなことが重要だと考えますか。（〇は3つまで）

- 1 住民一人ひとりの人権の尊重と権利擁護の意識づくり
- 2 地域住民の誰もが共に支え合う地域づくり
- 3 地域住民のみんなが参加できる自立した住民自治の地域づくり
- 4 男女が共に協力する男女共同社会の推進
- 5 地域の歴史や文化を大切にすること
- 6 自治会などの住民組織や、福祉を支える専門職や住民リーダーなどを育てること
- 7 近所同士や親同士の地域のつながりを大切に、困っている人を見守り、支えあうこと
- 8 学校や地域での福祉教育をすすめ、地域福祉への理解を深めること
- 9 地域福祉に対する様々な情報提供の充実
- 10 その他（ ）

【 結果分析説明 】

回答が多い順の結果は下記の通りで全体的に前回と同じ結果となっています。

【 今 回 】		【 前 回 】	
22. 0%	住民誰もが共に支え合う地域づくり	23. 8%	住民誰もが共に支え合う地域づくり
20. 9%	近所、親同士の地域の繋がりを大切に、困っている人を見守り支えあうこと	19. 2%	近所、親同士の地域の繋がりを大切に、困っている人を見守り支えあうこと
14. 8%	地域福祉に対する様々な情報提供の充実	14. 0%	地域福祉に対する様々な情報提供の充実
9. 1%	地域住民のみんなが参加できる自立した住民自治の地域づくり	10. 7%	自治会等の住民組織や、福祉を支える専門職や住民リーダーなどを育てること
8. 8%	住民一人ひとりの人権の尊重と権利擁護の意識づくり	9. 0%	学校や地域での福祉教育をすすめ、地域福祉への理解を深めること
8. 6%	自治会等の住民組織や、福祉を支える専門職や住民リーダーなどを育てること	8. 9%	住民一人ひとりの人権の尊重と権利擁護の意識づくり
8. 0%	学校や地域での福祉教育をすすめ、地域福祉への理解を深めること	8. 5%	地域住民のみんなが参加できる自立した住民自治の地域づくり
3. 5%	地域の歴史や文化を大切にすること	2. 8%	地域の歴史や文化を大切にすること
2. 7%	男女が共に協力する男女共同社会の推進	2. 6%	男女が共に協力する男女共同社会の推進
1. 6%	その他（マナーの改善（ゴミ、野焼、犬猫、地域清掃等）	0. 5%	その他（マナーの改善（ゴミ、野焼、犬猫、地域清掃等）

問27 その他（自由記載）

- 1 （50代 女性 無職）
町民同士がお互いを知り合い大切にしたい、その中から助け合ったり相談をし合ったりして孤立する人をなるべく無くす。他地域移住してくる人を輪の中に入れていく努力をする。
- 2 （40代 男性 会社員）
地域（自治会）にまかせず、行政（町）が主導すること
- 3 （70代以上 男性 無職）
子供たちの行動にいちいち文句を言う人が居るみたいで（例えば 道路自転車乗るな！とか）危ない時には、親達は見守ってあげてください。子ども達の遊ぶ声を聞いた事がない。しぱりつけなくて！！
- 4 （30代 男性 会社員）
若者が生き生きと過ごせる町にすればよい。子どもや年寄りの事ばかりで動ける若者はみんな嫌々行事に参加している。
- 5 （50代 女性 自営業）
行政がリーダーシップを取り、動き、1人になった高齢者や元気な高齢者に声かけをし、ボランティアに参加してもらう場を情報提供する。また、その様なボランティアを作る。

問28 今後、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくため、福祉サービスの在り方、地域福祉の進め方、保健福祉行政への提言や新たに実施してもらいたいサービスなど、日頃皆さんが考えていることなど自由にお書きください。

(例) 移送サービス、配食サービス、買物サービス。

(自由記載) ※個人の特定ができるものや、不適切な表現については一部修正や削除しております。

1 (60代 男性 農林水産)

今後、高齢化や独居化が進み、現行の各サービスの需要が益々高まることが想定されるので、それぞれの事業の更なる充実を期待します。また、次期を得たPR(広報)も欠かせませんね。新冠町(保健福祉課)そして新冠町(社会福祉協議会)の連携を密にして、住民福祉の向上に益々頑張ってください様、宜しくお願い致します。

2 (70代以上 女性 専業主婦)

買物サービスが1週間に1度位あったら良いかなと思います。

3 (70代以上 男性 無職)

・移送サービスできれば これから夕方まで暗くなるのが早くなってきているので、できれば朝もうすこし早く来てもらいたい。最低でも7時ごろから車をだしてほしいとお願いしたい。

・帰りが、昼からの診察なので、どうしても帰りが遅くなるので、冬は増して大変なので送ってくれる人にも迷惑かけたいのでお願いしたい。

4 (70代以上 女性 自営業)

今のところ私は自分で少々足は痛いですがなんとか生活している事に励んでおります。近所の奥さんを見ていると、ご主人の事で頭がいっぱいになり気の毒に思います。でも、ある時は息抜きをしながらしております。

つまらない感想ですが、何か私にあった時はよろしく願いいたします。

5 (70才以上 女性 無職)

移送サービスを受けていて、とてもありがたいと思っています。

6 (70代以上 女性 専業主婦)

前ページのアンケートを総合的にそれぞれの用途に応じボランティアの分野に人員の登録制を作る。

必要な時に登録の方をお願いをする。例) 1、買物班 1、食事作り及び掃除、洗濯班 1、話し相手班 1、通院、外出の手助け班等に登録 各5~10名程度

7 (70代以上 女性 専業主婦)

一週間に1回程度に買物サービスをうけたいです。新冠ではまに合わない事が多い。

8 (70代才以上 男性 無職)

いつも自治会、役員の方々には感謝致しております。特に除雪等、老人世帯にとっては無理な体力のいる作業は手助けしていただき頭の下がる思いです。夏の時期には、草刈りは頑張って行ってはいますが、それも時間の問題でして、ゆくゆく無理になると思っています。特にアライグマや鹿に悩まされています。良い方法がありましたら教えてください。尚、サービスの中身、時間帯、料金、配食サービスについてはメニュー等、中味が分からず未だ利用した事はありませんが、ゆくゆくは利用したいと思っています。

9 (50代 女性 無職)

私は障害者で、温泉券や医療バスにも乗れるようにして頂いて、大変感謝しております。日頃から特に保健師さんや福祉担当の方をはじめ、役場の方々の親身な対応に助けられながら18年の間子育てもして参りました。新冠町は住みやすくてとても良い町だと感じています。福祉に限らずよそ者には、情報の開示が少なく、分かりにくいと移住当初感じておりました。家を探すにも都会の様に不動産屋さんが無いので困りました。今は知り合いも出来たので、〇〇はありますか?など聞くことができますが、先日は文化サークルの一覧が日付など更新されておらず、知っていそうな人に聞きました。高齢化については、元気な方も多いので、高齢者が働きざかりの子育て世代を支えるのも良いかと思えます。こども園もとても良く活動されているように見えるので、今、アイデアは無いのですが、安心して産み、育てられる町づくりは目指したいところです。以前、国保病院の立て直しの時も提案しましたが、産婦人科も有ると望ましいですね。また、外国籍の方も増えていると聞くので、誰もが暮らしやすい町づくりをすれば、地域の福祉にもつながってくるのではと期待しています。毎年、役場まわりの花が植えられている事や、玄関ホールの植物はとても良いです。春のパンジーがまだ咲いているのに植え替えられてしまうのもったいないです。捨てるのなら、他に移すことは可能ですか?咲き終わった花をつんで、水をやる時、花に掛けないようにするともっと楽しめると思います。もったいないです。手間が掛かる事なので差し出がましいと思いましたが、正直な感想です。手入れをするサークル?があってもおもしろいかと思います。すみません。

- 10 (70代以上 男性 無職)
今は自分で運転しているが、いつまでも出来るとは思わないので、その後の買い物、通院が本当に心配です。
- 11 (40代 男性 自営)
もう実施しているのかもしれませんが、新冠や静内の病院にはバスが定期的に回っているかもしれないかもしれませんが、少し高度な医療を受けるには苫小牧や札幌などに通院しなければならない人も多いと思います。医師をへき地に呼ぶよりも、定期便などで都市の病院へ行き来する交通手段があると、免許返納した人でも、安心して田舎で暮らせるのかな、と思います。医師に支払う報酬とバスを運営していく費用、どちらが高くつくのかわかりませんが。
- 12 (40代 男性 会社員)
住民の意見や多数決ではなく、福祉が必要な人々に直接「なにが必要か」という事を聞いて、行政が実行に移すべし。
- 13 (70代以上 男性 無職)
独居高齢者が年々増加すると思われるので、上記(例)のサービス(移送、配食、買物)も必要と思われるが、何と言っても健康面、財産管理等々に不安を持ちながら生活をしていると思うので、担当の職員又は民生委員さんは、年に3回程度は巡回、相談にのってやるような事も必要と思う。・・・各種サービスが年々充実されている事は大変ありがたいと思うが、精神面の方策も考え推進されることを期待。
- 14 (60代 女性 自営業)
少しずつ年齢も増し、何かと外出も大変です。車もなく、何かと役場に手続きに行かなくてはならず、みんな困っています。大変ではありますが、来てもらえるサービスが増えるよう変わっていくべきではないでしょうか。買物は、静内に月1回でも乗合で行くことが出来たら、ほぼ、ほぼ、皆さん助かるのではないのでしょうか
- 15 (60代 女性 パート・アルバイト)
過疎化でお店も少ない中、バスで買い物等とか大変不便です。宅配サービスの品が少なすぎて困難な時もある様事が聞かれます。
- 16 (70代以上 女性 無職)
情報提供が定期的にありますのでとても助かります。今後ともよろしく願いいたします。
- 17 (70代以上 女性 無職)
数10年連れ添った夫婦。二人の生活も考えられない。相手の入院生活(1年間)コロナで病院でも会うこと出来ず。大事な話も出来ず。あっという間に独りぼっち、今、一人になった自分は何も考えられません。
- 18 (40代 男性 専業主婦)
除雪サービス、室温見守りサービス
- 19 (40代 男性 パート・アルバイト)
・1人、各障害者の配食サービスを(例)月何回又は週何回かを配食サービスを(例)判官館森林公園 大きな滑り台が石製で普通に滑るとズボンに穴があいてしまうので石製を鉄製に代えて欲しい。折角の大きな滑り台もったいないと思います。鉄製に変えたら家族や子供たちが遊びに来る方々増えると思います。
- 20 (70代以上 女性 無職)
公共施設が遠い事。現在は車運転できますが、雪道になると殆ど参加出来ません。個人的趣味は出来かねます。交通情報はある程度聞いておりますが?近隣の方達が良くしてくださっています。現在は安心です。ありがとうございます。
- 21 (70代以上 女性 無職)
・庭木の処理 ・買物サービス(月、2回程度のサービスを有料で希望します。)
- 22 (20代 男性 会社員等)
高齢化の進んでいる新冠町なので、買物サービスなどの福祉サービスは必要だと感じていますが、そのサービスをするための若者の数は非常に少ないと思います。若者が増えるように活動をするのが第一優先だと思います。
- 23 (60代 男性 自営業)
弱者の災害時の避難が不安
- 24 (40代 男性 無職)
スーパー作ってほしい。みんなが入れる墓を作ってほしい。通院できる病院を作ってほしい。
- 25 (70代以上 女性 無職)
福祉サービスの(移送サービス)出来れば通院中の患者さんばかりでなく、一般の患者も乗せてもらえば大変うれしいと思います。

- 26 (70代以上 男性 無職)
総合的なヘルパー制度を立ち上げー公的な組織 例、住宅周辺の整理(草取り、犬の散歩、大掃除等々) 日常的な生活の助的役割を行う。有償なら現在すると思うが、無償で。
- 27 (50代 女性 パート・アルバイト)
福祉関係の資格の取得が出来る様に町が全額負担して介護士の資格を遠くの学校まで取りに行かなくても済む様に、新冠町内で、もしくは苫小牧市内の学校へ送迎するなどして資格を取れる様にして介護士の人員を増やして欲しいです。
- 28 (70代以上 女性 専業主婦)
福祉や介護をする方が、いろんな援助が受けられますが自分で探したり、申し込みをしなければならない事があります。その時に必要と思える援助(手助け)をしてくださる事を願います。(障害者がNHKの公共料金の無料を知らない方もいます。)
- 29 (30代 女性 公務員)
除雪サービス
- 30 (70代以上 女性 無職)
日頃、福祉の移送サービスを35日に1度町立へ通院、自治会の地域の方々に援助を受けながら暮らさして頂き感謝の日々を送っています。子供達は札幌に住んで居るので月2、3度は泊りがけで来てくれますけど、近くの他人の力添えです。実感しています。新冠町には最後までお世話になりたく思っています。
- 31 (20代以下 女性 会社員)
新冠町には大型スーパーが無い為、他町に買い物に行かなければならない状態なので、買い物サービスをもっと拡大していく必要があると思います。(スーパーを建てると、より良いと思います。(不便を感じています。))
- 32 (30代 男性 公務員)
日頃より、町民のために叡知を結集して、住民サービスを考えていただき、ありがとうございます。特に、保健福祉行政への提言等はないのですが、子育て中の母子の交流の機会をもっとあって良いのではと感じます。
- 33 (30代 女性 会社員)
高齢者は介護が必要になった時に最期まで見てくれる所、成人と子どもは緊急時でも診てくれる病院が完備されている町であれば、安心して暮らせると思っています。これらを充実させるために地域福祉サービスは民間の手を借りて行政が主導で介護施設や病院運営する資金確保や委託先の充実を図ってほしいと思います。
- 34 (20代 男性 会社員)
1人暮らしの高齢者が多く、その中には生活がギリギリの方もみられます。しかし施設やサービス等の支援を受けられるものがなく、利用したいけど利用できない状況にあると思います。もし、仮に介護サービスの提供する事業所があっても、新冠は小さい町なので人材不足は懸念されると思います。人材に関しては地域だけではなく行政の介入も必要だと思います。
- 35 (70代以上 女性 専業主婦)
病院の待ち時間、もっと早くしてほしいです。
- 36 (40代 男性 会社員)
障がいのある方が一人で通院等に行くための方法(サービスがない)
- 37 (50代 女性 パート・アルバイト)
自分が注意して見ていないせいだと思いますがどんなサービスがあるのかわかっていません。お友達のお母さんはこんな事してもらってるよ、とか話して聞いて、あーそうなんだー！そんな事もしてくれるのね！と思ったりはしています。イザとなったら福祉課に相談に行かないとなんにも知らないなあと思っています。今でもあるのかもかもしれませんが、用途別に冊誌があったらもらいたいなあと思っています。
- 38 (40代 男性 会社員)
新冠町で”現状” こうして欲しいなどの声は聞いた事がありません。(高齢の方が身近にいない)ただ、地方など関係なく日本全体で少子化、高齢化の為、率先して福祉サービスの取組みをしている都府県の事例、事案モデルを参考に、少しでも出来そうなら取り組んでもらいたい。まずは動く事が大事だと思います。
- 39 (70代以上 女性 無職)
運転免許を返上した場合、ポータブル用の灯油(ポリ容器)の補充が心配(20ℓ 1~2ケでスタンド対応してもらえるのか) こういう事にも相談できるとありがたく思います。

- 40 (70代以上 男性 自営業)
新冠町に住んで良かったと思える町。人間関係が良くて幸福感があり、身体的な健康と精神的な健康がえられれば住みよい町になるのではないのでしょうか？そのためには病院が新しく建設されますが、中身が大事になると思います。不整脈など心臓に関わる病気ならばすぐに札幌の心臓の病院に手配してくれて、手術して元気になって帰ってくる。膝が痛くて歩けなくなって介護される前に一刻も早く札幌の大きな整形外科で手術リハビリして元気に帰ってくる。一年に一回の健康診断するのはいいと思いますが、腕があがらない⇒家事ができなくなって困る前に整形外科にかかる様にして介護予防。膝の痛みがあれば、札幌の大きな整形外科に紹介、入院手術してリハビリして元気に帰ってくる。なんか、今の年一回の健康診断はそこが欠けている様に感じます。認知症予防や寝たきりを未然に防ぐ事を考えてほしいです。
- 41 (50代 女性 会社員)
ゴミの分別が難しくなってきた高齢の方がいる。ドア前まで介入に行ってほしい。分別ができない状態が続く場合、ケアマネ等の介入が必要かと思えます。ただ「分別ができていません」のシールだけでは解決しません。独居のお年寄は一人では福祉に相談できません。
- 42 (20代 男性 公務員)
ファミリーサポートセンター
- 43 (20代 男性 自営業)
将来は美唄のGHとほかの事業所に行って、色々見学して見たいです。
- 44 (50代 男性 自営業)
1人で外出が出来て、一人で住む生活、頼らないで自分で出来る事、親にも頼らない、生きて行ける力を持ちたい。どこかに行ったり、沢山行きたい。
- 45 (70代以上 女性 専業主婦)
1. 高齢になり、ゴミステーションにゴミを運べなくなってきました自宅前に出して置いたら持って行ってくださるとありがたいです。2. 「憩いの家」(お風呂)をありがたく利用していますが、高齢になり免許も返上したので往復が大変です。送り迎えしてくださると助かります。
- 46 (70代以上 男性 農林水産)
市街地と違い、高齢になっても、山間地域は身体の動く限り仕事ができる(草むしり、ピーマンのへた取り等)その為、行事、活動になかなか参加してもらえない。まだまだ、意識が低いと思う。高齢者ばかりの世帯となり、自治会活動も出来なくなって来ているのが現状である(しかし、有事の折には協力出来る態勢にあると思っている)
- 47 (70代以上 女性 無職)
時々、保健師さんなどがたずねてもらえるといいです。
- 48 (50代 男性 公務員)
私の近所も高齢の方が増えてきた。身体的おとろえもあり、冬場の雪かきなどが大変そうで、近所の雪かきなどは行っている。今後ますます高齢化していくと、地域でのボランティアも出来なくなるのではと心配する。
- 49 (40代 女性 パート・アルバイト)
児童手当や、子ども医療費の無償化など、日ごろ大変助かっております。給付金なども随時、支給していただき大変ありがたいです。が、我が家は子供が多いので、給付金など一世帯につき一律の額だと正直、不公平感がぬぐえません。可能であれば、扶養家族の人数に合わせた柔軟な給付を願います。また、子が幼いうちは、いろいろ手当があり、助かるのですが、子は成長しても、むしろ成長した時の方が、正直お金がかかります。もう少し子に対し、長期での手当があるとありがたいです。
- 50 (40代 男性 会社員)
1. 町内や近郊の病院では対応できない人が多いので、苫小牧の病院への移送サービス(有料も可)、付き添いもあると高度な医療を受けられる⇒自分の親など高齢者は苫小牧の病院に1人では行けないので、子が仕事を何日も休んで通わせるのは大変。2. 外国人労働者の増加により文化の違いなどからトラブルが起こってくると思うので老人の方が行政に相談しやすい環境づくりが今後は大事。
- 51 (70代以上 女性 専業主婦)
年をとると あちこち いたいところが出たりで 出かけるのが へるかと思いますが 私はなるべく 人の中に入り楽しむように心がけています。お互い声かけあって、生きていきたいです。
- 52 (70代以上 男性 無職)
・長距離歩行困難な為、医療機関だけでなく、郵便局などにもメロディバス停車を希望。・石井病院 ⇄ 中村脳神経での停車をお願いしたい。

53 (30代 男性 公務員)

外国人や他町からの移住者が増えている印象。移住者同士や外国人同士のコミュニケーションや相談できる場の充実。新冠町単独ではなく、近隣町とも協力し、高齢者、障がい者などのサービスや資源の確保を進めていかないといけないのではと感じる。

54 (70代以上 女性 無職)

私は現在、大丈夫かと思うが、歩行困難になる事があって通院出来なくなる、息子娘は地方にいて通勤中で仕事を休ませるわけには行かない。良い病院となれば札幌の専門病院となるので、交通時間、乗つぎにバス停まで1丁程歩いたりバス停から病院までの歩行と予約時間に遅れるネ。病院代よりも交通費ホテル前泊代とかかかるので、息子の負担となるので、やっかい者と思われるのが、家庭内のもめ事になるのが目に見えてくるネ。(子供達の収入も少なく共稼、学費もかかる)生きるもの大変です。人生いやになる。

55 (70代以上 女性 無職)

もう少しすべての商品が変えて配達をする店がいつ新冠にできますか・・・野菜や果物、魚介類やお肉が楽しく買い物できる店がほしいです。私達不自由な人が楽しく安心して買い物でき、今はもうビックリすべての値が高くてなんとか新冠町に年金者が安心して買物をする店がほしいです。一店舗ですべてそろう店が。そして配達もして頂けて今迄若い内は買物持って帰れても70~90になるとほんと無理。楽しく生きるために少し良い方こうを考えて下さい、配食サービスもいつも同じメニューでなく楽しくおいしく食べる生活の年だすけお願いします。もう少し広いすべてみて下さい。

56 (60代 女性 自営業)

移送サービスの予約で通院できますが多くの人が病院の診療が終りその後のサービス車が来るまでが長くて大変だと言っています。個々の方を送るのは大変な事ですが、体調の悪い時などは本当につらい事と思います。病院の方が終りまち時間を30分まで(~20分)まで以上の方はハイヤー利用なども必要ではないかと思ひます。ハイヤー利用時の必要性を考えて下さい。新冠町から新ひだか町への通院が多いと思ひます。ハイヤー(タクシー)の利用時の援助制度を考えてほしいと思ひます。

57 (60代 女性 自営業)

お年寄の運転・一時停止で停まらない確認しない方が多い。・各交差点に左右確認できるミラーを設置確保してください(北星町)

58 (50代 男性 会社員)

ライドシェアの実現

59 (60代 男性 無職)

配食サービス業者の増加。カフェ、講演会等への送迎。

60 (70代以上 女性 自営業)

ここ数年でどこの町村も人口が減っています。今後人口が増えることは見込めないですよ。そんな時代だからこそ、人と人とのつながりを大切にしなければいけないと思ひます。行政、社会福祉協議会は町民によりそい、つながりを持ってるように考えていただきたいです。皆さんも同じ町民です。同じ立場で物事を考え行動してほしいです。人に上下はありません。

61 (70代以上 女性 無職)

私は町主催の老人行事に参加しておりますが参加客はほとんど街の方です。山の方が参加しないのは何故か?と思ひます。全町が参加出来る何か、お思ひついていませんが、考えてみていただきたいです。

62 (50代 男性 公務員)

老人の一人暮らしの見守り

63 (50代 女性 自営業)

新冠の保健福祉行政はとてもいいと思ひます。いたれり、つくせりで高齢者や家族にはとてもありがたいです。まだまだ元気で動ける高齢者の方はたくさんいます。暇をもて遊んでいるお年寄の方たちもたくさんいます。行政が動き高齢者の方達の力をもう少しかりたらいいと思ひます。でもお年寄なのでなんでも一からやるのはなかなか難しいので、はじめは行政の方達が動いてボランティアや、働く場を作ってくれなければ無理だとは思ひます。やってもらうばかりでなく、高齢者がやれる事をやる場を提供する「高齢者生きがいプラザ新冠」を作してほしいです。すきな事はばかり書いてすみません・・・

64 (60代 女性 パート・アルバイト)

冬になると除雪が大変です。中学校が近くなので道路が凍ってあぶないので除雪しなきゃならない。

65 (70代以上 女性 無職)

現在は生活全般、他人のお世話をうけないで、自分でできています。若い頃は古い住宅におり、現在は新築した(大分、年数が経過します)住いにおりますから、住宅を自分のお城と思って、片付けや掃除をして気持ちよく過ごせるよう心掛けています。食事は家庭菜園で自分で(野菜)作ったものを調理して食べています。手作りの食事を楽しんでます。介護認定を受けていますが、まだ頭がしっかりしていますから物忘れで困ることはありません。近所の老人が遊びにきて世間話をしたり過去のことなど話し合うことがあります。そんなことで買い物や食事作り、銀行、郵便局へゆく用事も自分でしています。80才を過ぎて足が弱り歩行が満足にできません。身体が動かない。外出はシルバーカーを押して対応しています。子供達は遠方にいるので日常に世話になる事は出来ません。歩行が大変なので現在、移送サービスを受けて静内町眼科や内科クリニックへ行っています。戸口まで車を寄せてくれて配慮が行き届いてありがたいです。小さい町で福祉のサービスは行き届いていると思います。時々老人クラブの集会や自治会の集会で普段顔を合わすことのない人々に会えることは良いことです。行事には出席しています。これから年を重ねてどのように老化してゆくか先のことは分かりません。超高齢化社会で老化予防の情報が多いから自分で出来る事を努力して続けて少しでも長く自立して過ごしたいと願っています。現在のところ福祉について、してもらいたいサービスは特にありません。

66 (70代以上 女性 無職)

昔はそれぞれの家庭で人数も多くまた近所の人々も長い付き合いで親しい付き合いをしていたように思います。現在はあまり良く知らない人もいてそんなに親しくはありません。公的な福祉サービスをなるべく利用したいと思えます。

67 (60代 女性 パート・アルバイト)

・買い物サービスの充実 歩けない人、外出できない人が店に出かけ品物を選んで買い物ができる事がもっと広がればよいと思う。

68 (40代 男性 無職)

「移送サービス」の件。医師から苦小牧市や札幌市内の医療機関を受診(or入院)するよう指示された時、お一人での移動が困難な方のため援助が必要だと思えます。

69 (70代以上 女性 無職)

移送サービスは夫を自宅で介護中、利用させていただき、とても助かりました。これからも続けていただきたい事業です。配食サービスも退院後、利用させていただきました。独り暮らしなのでとても助かりました。※現在あるサービスは、そのまま続けていただきたいし、それから取り組める事があれば、よろしくお願ひしたいと思えます。

70 (70代以上 男性 無職)

食料品店(中型)の誘致。当町には日常食する食材を手に入れる商店は一軒も見当たりません。5km~6km離れた隣町には大型店舗が何軒もあるけれど車のない者及び老人にとって毎日の食材を求めることは大きな悩みである。困って中型食料品店誘致は大変な苦勞を伴うと思うけど、時間を要してでも是非誘致に眼を向けてほしい。

71 (60代 男性 無職)

移送・買い物サービス

72 (70代以上 男性 会社員)

地域福祉の重要性を理解しながらも高齢・少子化等の影響により、地域コミュニティの崩壊も始まりつつある昨今。これらの足元がゆらいでいる中において新たな模索する厳しさを感じる。以上からこれまでの福祉サービスを充実させ、現行制度、事業等の着実な遂行(見落としのない)を期待します。

73 (60代 女性 会社員)

アンケート取っても、何かいい方向に取り組むのでしょうか、2年前一人暮らしの方がいた時、少し様子がおかしいので見て欲しいのお願いしたのですが実行いたらず。病院に入院して悪化した人がいました。役場は一人(一部)の人が言っても、名前の知ってる人、動くことはないのでは? アンケート 無なのでは.....

74 (70代以上 男性 会社員)

(例)にあるサービスは今のところ必要としていないが、実際に必要なときにどうするのか、どのようになるのかを事前に考えるのは難しいと思う。(問12で述べたことと同じ)問19の地道な対応を基本として数多く講習等を通じて、自分はどうするのかという考え方を持ってもらおう仕組みづくりを数多く行うのが良いのではないかと。

75 (70代以上 男性 無職)

令和7年以降は「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化するといわれています。福祉関係の資料にありました。かつ地域共生社会の実現には福祉教育の推進が重要と記されていました。

76 (70代以上 女性 無職)

新冠町は他の町村より移送サービス、その他も充実しているように思えます。今の所これ以上望みません。

- 77 (60代 男性 会社員)
各地域にあった学校が無くなり、感じた事として若い人が新冠の町にどんどん流れていき残るのは老人世帯ばかりになっている。最後に残された、朝日小学校も閉校になろうとしている。若い人がより一層移住が加速し、老人世帯ばかりになり、自治会自体も機能しなくなってくると思われます。また、同居する若い人も徐々に離れていき、(例)のようなサービスがますます重要になってくると思われますが、役場職員が各地域にある程度いれば、夜間の災害対応や困り事を相談することもできると思います。
- 78 (60代 女性 専業主婦)
災害の時、自力で避難出来ない人達の支援のマニュアル・システムなど明確な事を知りたいです。先日検診の電話をもらいました。文章だけではなく個々の直接的な話は相手が見えて話が聞きやすく安心します。
- 79 (60代 男性 農林水産)
福祉サービスを必要としている人が声を上げてくれないとハラスメントの関係もあるので、こちらから入り込むことは出来ない。その声を拾うのは保健師であり、社協職員であり、民生委員の方々だと思う。(個人情報の件もあるし)
- 80 (70代以上 女性 無職)
今一番困ってるのは買物できる場所(昔Aコープ)が新冠にはないことです。車を持っている人ならいいですが、高齢者はとても不自由だと感じています。
- 81 (70代以上 女性 無職)
老人の一言①移送サービスはとても有がたく思っています。②家族と住んでいても自分で見て買い物をしたい品がありますのでサービス車があれば幸いです。③多忙な保健婦さんですが、山間の高齢者の家に時々来てお話を聞いてほしいと思っています。又新しい情報等々話し相手をして下さったら幸いです。
- 82 (60代 女性 専業主婦)
我が家には障がいの重い息子がいます。息子が生まれて成長してくる過程で、その時その時に必要な支援も異なりましたが家族だけではなく行政や学校・福祉などたくさんの方々を支えていただいたことに感謝しています。時代の流れもあり障がいということへの考え方も変わってきました。しかし、やはり小さな地域では、資源が限られてしまうことは今も変わりありません。息子の現在そして今後について考えると不安なことが多いです。障がいが重たくても地域の中で生活していくためには、日中活動できる場所(社会参加の)が必要であり、家族に何かあった時に託せる場所(ショートできる場所。生活の場)が必要です。1つの地域に色々なタイプの福祉事業所がある訳ではないので地域にある色々な資源を組み合わせたり、近隣町村と助けあって色々なタイプの障がい者を救いあげるような形でできてほしいと思っています。また、老いた母をみて1日を通して支援できる形が施設入所ではない形で家族だけではなく支援していけるサービスがあると母も少しでも長く自宅ですごしていけるのではないかなと思っています。現実的には難しいことばかりですね。
- 83 (70代以上 女性 専業主婦)
・耳が遠くなったことで病院の窓口での対応に不安を感じていると聞きます。付添いをボランティア(有償・ポイント制)で可能になると良いです。・「買い物に一緒に行ってくれる人がいると・・・いいんだけどね～」との声もあります。『買い物に行きませんか』という買い物に連れていってくれるサービス 隣町の大型店舗での買い物をしてみたい!! 醤油や味噌、飲料水等の重い物を少し手伝って運んでほしい!! 衣類の買物もしてみたい!! 等・ボランティア(無償・有償・ポイント制)をしたい人、受けたい人の調整を行う窓口が必要。早期に開始させることを・・・お手伝いしたいと思っている方はおります!!
- 84 (30代 女性 公務員)
・病児保育があったらいい。・日曜、祝日も利用できる子育て支援センターがほしい。→雨の日の室内遊び場が少ない・新冠国保は「小児科」と書いてあるのに、子どもは受診できないと言われる。町内で子供を診察してくれる病院が欲しい。・保健師さんと気軽にお話したい。子育て支援センターに来てほしい。
- 85 (60代 女性 専業主婦)
福祉サービスへの第一歩にためらいがある。身近な人からアドバイスをもらい、そこから行くと思う。もっと親しみやすい場であれば良いと思う。配色サービスについて、たまたま食べる機会があったのですが、あまりにも貧相、味付けもしょっぱすぎる魚、薄くて貝の無いようなみそ汁、悲しくなりました。買い物サービス(FAX)で季節の魚や刺身は食べられないと聞きましたが・・・結局同じ物しか買えないと・・・
- 86 (20代 男性 会社員)
高齢者の方たちに対して、体力活動や交流活動を増やしていく事が必要だと感じます。また、在宅にいる高齢者の方の介助をしている方の相談場・サポートが進んでいけば良いと思いました。障害のある方が実力を発揮できるような就労場所の拡大も今後、必要になってくると思いました。

(再記) (問22で「3 使わない」「4 わからない」と答えた方におたずねします。)
問24 なぜ「つかわない」と思いましたか。また、「わからない」理由は何ですか。
自由にお書きください。

- 1 (50代 男性 公務員)
わからないから
- 2 (40代 男性 農林水産)
しらないから
- 3 (60代 男性 農林水産)
どのようなサービスがあって自分に必要なかわからないから
- 4 (30代 男性 会社員)
その時になってみないとわからない
- 5 (70代以上 男性 無職)
福祉サービスの内容がよく理解していない
- 6 (30代 女性 パート・アルバイト)
そもそもどんなサービスがあるかわからない
- 7 (70代以上 女性 自営業)
その時になってから考える
- 8 (70代以上 男性 無職)
福祉サービス利用とあるが、どこまでが福祉サービスなのかわからない
- 9 (70代以上 男性 農林水産)
その時にならないとわからない。この物価高に楽に生活している住民はいないと思う。出来る事は自分で、何をするにも金しだい。高齢化社会だから自分でしないと。誰が金を出す。町長も考えないと。
- 10 (40代 男性 会社員)
現在、必要としていないから
- 11 (60代 女性 自営業)
町からどのようなサービスがあるか使える説明が不足している。(どこでも目に入る様、図に書くポスターとか老人に分かり易く) 町全体の福祉のイメージを具体的に何度も町民に説明して、利用者となってから困らない様に教育が必要です。ケアマネージャーと言われても、そのこと(人が)何なのかさえ理解していません。自分が必ず利用者になる事への前もっての勉強をもっと前もってやって下さい。どのようなシステムの中自分がいるのかを知ることが大事です。また、どこまでも選択して決める自由が一番の尊厳であります。ケアマネージャーが決めてはいけません。
- 12 (70代以上 男性 無職)
現在元気で地域福祉に携わっているので、自分のことはあまり考えていなが、いずれ必要となる事はあると思います。
- 13 (70代以上 男性 無職)
自分の力で生きていきたいです。病院とかにたよりたいです。
- 14 (50代 女性 パート・アルバイト)
情報がないので信用できない。利用者の思っている事と、福祉サービスをする側の出来る事の相違がある。利用する側は些細な事をして欲しいと思っても、そんな事は自分でできるでしょ・・・という感覚の違い。
- 15 (70代以上 女性 無職)
新冠病院に通院していますので50日に1度移送車のお世話になっています。大変嬉しく感謝しております。
- 16 (20代以下 女性 学生)
配食・買物サービス

- 17 (30代 男性 公務員)
今はサービスを使うつもりでも、その時の心情で変化するから。十分にサービスが確保できないと、遠慮して受けないかもしれない。
- 18 (40代 男性 無職)
以前、移送ハイヤーを利用させて頂いておりましたが、乗務員の方から不快な言動があり移送ハイヤーの利用を止めました。困って、今後も福祉サービスの一つである移送ハイヤーを利用しません。
- 19 (60代 男性 無職)
今のところ使う考えはないが将来はわからない。

パブリックコメントにて寄せられた意見
期間：令和6年2月1日 ～ 3月8日

- 1 (50代 女性 パート)
社協が何をされているのか、あまり伝わっていないのが印象です。香典の寄付と相談会しか知りませんでした。今回ボランティア団体がこちらに属している事を知り、介護保険事業が不採算地域なのであれば、研修を受けた有償ボランティアの検討はいかがでしょうか。

3. 第6期新冠町社会福祉協議会地域福祉実践計画策定委員会設置要綱

令和5年 5月16日 制定

（設置目的）

第1条 近年、少子高齢化や核家族化の急速な進行、ライフスタイルの多様化等により、家族内の扶養機能の低下が見られる。また、地域内では相互扶助機能の低下や人間関係の希薄化により福祉を取り巻く環境が大きく変容している。

このような状況の中で、高齢者や障がいのある方、子どもも含めた全ての町民が、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができることを目的に、一人ひとりが役割を持ち活躍できる地域共生社会の実現を目指して、地域福祉の一層の向上発展を図るとともに、新冠町が策定する新冠町地域福祉計画との連携を図り、目指す方向性や取り組みの指針となる第6期新冠町社会福祉協議会地域福祉実践計画を策定するため策定委員会を設置する。

（任務）

第2条 委員会は、計画に関する調査及び研究を行い、計画案の策定を行う。

（組織）

第3条 委員会の委員は15名以内で、次の各号に掲げる者をもって組織し、会長が委嘱する。

- (1) 社会福祉協議会理事
- (2) 社会福祉協議会評議員（自治会関係者・老人クラブ関係者・身体障害者関係者）
- (3) 民生委員児童委員
- (4) 行政関係者、学識経験者又は福祉関連事業者（社会福祉法人、NPO法人等）

（任期）

第4条 委員の任期は、当該計画書案の策定をもって満了とする。

2 欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の在任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選任する。

2 委員長は、会務を総理し会議の議長となる。

3 副委員長は委員長を補佐し委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 委員会は、委員長が必要に応じて招集する。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会は、必要があると認めるときは、有識者等を出席させて意見を聞くことができる。

（庶務）

第7条 委員会の庶務は事務局（策定検討会）において処理する。

(費用弁償)

第8条 委員会の委員には、費用弁償を支給する。

2 費用弁償の支給は、新冠町社会福祉協議会役員等の費用弁償支給規定に基づく。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、公布の日から施行する。

(失効)

2 この要綱は、令和6年3月31日限り、その効力を失う。

4 地域福祉実践計画策定委員名簿

【 第6期 新冠町社会福祉協議会 地域福祉実践計画策定委員 】

委嘱期間（令和5年7月26日～令和6年3月31日迄）

所属名	氏名	摘要
新冠町立国民健康保険診療所 看護師長	野村 香里	行政関係者
社会福祉法人ふくろう会 特別養護老人ホームおうるの郷 施設長	東 賢 秀	福祉関連事業者
社会福祉法人 新冠ほくと園 新冠町子ども発達支援センターあおぞらマネージャー	上 田 美 香	福祉関連事業者
社会福祉法人新冠ほくと園 統括施設長	成 田 英 司	福祉関連事業者
新冠町老人クラブ連合会 会長	姥 谷 完 治	社協 評議員
新冠町身体障害者福祉協会 会長	百 海 秀 一	社協 評議員
・ボランティアグループあゆみ 代表 ・NPO法人みんなの家ひだまり 理事長	杉 田 友 子	社協 評議員 (ボランティア団体)
新冠町民生委員・児童委員協議会 会長	佐 藤 剛	民生委員児童委員
社会福祉法人 新冠町社会福祉協議会 理事	工 藤 清 吾	社協 理 事
北星自治会 会長	鹿 野 慎 二	学識経験者

◎委員長 … 成 田 英 司 ○副委員長 … 佐 藤 剛

【 第6期 新冠町社会福祉協議会 地域福祉実践計画策定検討会 】

氏名	摘要
柳 澤 良 孝	事務局長
森 藤 裕 也	副主幹
荒 木 祥 次	主任主事
高 橋 祐 花	主事
泷 瀬 由美子	訪問介護事業所主任、サービス提供責任者